

愛媛県生涯学習推進計画（第四次）

誰もが主役で輝き続ける“学び舎えひめ”の創造

愛媛県・愛媛県教育委員会



ご あ い さ つ

現在、我が国においては、未曾有の被害をもたらした東日本大震災を教訓とする防災・減災対策の推進をはじめ、国内市場の縮小やコミュニティの崩壊につながる人口減少の克服、更には、経済の好循環の確立、地方創生の実現など、数多くの課題をかかえております。

こうした現状を打開し、持続的な発展を図るためには、先見性・創造性にあふれる人材の輩出や、各分野を牽引するリーダーの育成はもとより、多様な人材が担い手となる「全員参加型社会」の構築などが不可欠となっています。それらに向けては、教育が重要なかぎを握っており、特に生涯学習・社会教育行政においては、誰もが主体的に学び続けられる機会の充実や、学びの成果を社会に還元できる仕組みづくりなど、一層の取組みが求められているところです。

このような中、県では、平成23年3月に定めた「愛媛県生涯学習推進計画」に基づき、さまざまな施策を進めて参りましたが、生涯学習の更なる推進を目指し、今回、これまでの成果と課題に加え、第六次長期計画「愛媛の未来づくりプラン」や「愛媛県教育振興に関する大綱」等の趣旨を反映し、平成28年度から概ね5年を期間とする、新たな「愛媛県生涯学習推進計画（第四次）」を策定いたしました。

今後とも、市町や関係機関・団体、学校、企業、地域社会等と連携し、「オール愛媛」で、生涯学習社会の実現に向けた取組みの効果的な展開を図り、本計画の基本目標である「誰もが主役で輝き続ける“学び舎えひめ”」をつくり上げて参りたいと考えておりますので、県民の皆様には、一層の御理解と御支援をお願い申し上げます。

終わりに、本計画の策定に当たり、御協力いただきました関係者の皆様に対し、厚くお礼申し上げます。

平成28年3月

愛媛県知事 中村 時広

目 次

第 1 部 生涯学習推進をめぐる状況

1 生涯学習推進計画策定の趣旨	3
2 前計画の進捗状況と評価	3
(1) 55 の具体的施策に照らした評価	
(2) 347 の施策項目の評価	
(3) 課題と今後の取組み	
3 基本目標「誰もが主役で輝き続ける“学び舎えひめ”の創造」	5
(1) 生涯学習の理念と必要性	
(2) 基本目標設定の考え方	
4 施策の方向性	6
(1) 主体的に学習活動をひろげる	
(2) 学びの仕組みを協働でつくる	
(3) 学びの成果をまちづくりにつなぐ	
5 生涯学習推進計画の性格・期間・構成	7
(1) 性 格	
(2) 期 間	
(3) 構 成	

第 2 部 推進施策と連携・協働の方向性

I 主体的に学習活動をひろげる	8
II 学びの仕組みを協働でつくる	14
III 学びの成果をまちづくりにつなぐ	22
IV 本計画の施策体系図	29

※ 参考資料	31
--------	----

○ 県民アンケート（単純集計結果、コメント、一部クロス集計）

第 1 部 生涯学習推進をめぐる状況

1 生涯学習推進計画策定の趣旨

これまで、県においては、平成3年度から3期にわたり生涯学習推進に係る中長期計画をそれぞれ策定し、総合科学・歴史文化両博物館の整備をはじめ、生涯学習センターを核とした各種学習機会の提供などをおして、生涯学習の推進に努めてきました。

平成23年度から27年度までの5年間を計画期間とした前計画においては、行政主導型の生涯学習の推進から、多様な主体による連携・協働をおして、県民自らが学び合い支え合う生涯学習社会構築の方向への転換を目指しました。併せて、教育基本法・社会教育関連三法の改正をはじめとした教育を取り巻く環境変化にも柔軟に対応しつつ、年度毎の指標把握から自ら計画の評価を行い、関係各課へ施策の推進に向けての要請を行ってきたところです。

一方、今後の社会状況に着目すると、本県の人口は平成32年に132万9千人、平成52年には107万5千人と推計(平成25年4月公表:国立社会保障・人口問題研究所)され、本格的な人口減少に歯止めがかからないなど、地域の衰退が急速に進む傾向にあります。さらに、生涯学習・社会教育を取り巻く環境についても、教育委員会制度改革をはじめ、内閣の最重要課題の一つとして教育改革を推進する必要から「教育再生実行会議」を実施しなければならないほど、青少年問題をはじめ、地域の教育力の低下などが、想像を超えて変化しています。

これまで、県においては、10年後の将来像を描いた第六次愛媛県長期計画「愛媛の未来づくりプラン」長期ビジョン(平成23年9月)、加えてその将来像の実現に向けて4年間で取り組む施策を盛り込んだアクションプログラム(第1期(平成23年12月)、第2期(平成27年5月))を策定し、愛媛づくりの方向性を示してきたところです。さらに、「愛媛県教育振興に関する大綱」を知事が策定(平成27年5月)し、本県教育振興の基本的な方向性等について県民の皆様にお示ししたところです。

そこで、本計画では、上記アクションプログラムや大綱の生涯学習分野における具体的な取組みを推進するための基本的な考え方や具体的な施策を示します。また、「愛媛県教育基本方針・重点施策」、学校教育やスポーツ、子ども読書活動などの教育分野における各個別計画等との整合を図りつつ、行政をはじめとした多様な主体による連携・協働体制により、今後の生涯学習施策を重点的かつ計画的に推進することを目指します。

2 前計画の進捗状況と評価

前計画は、基本目標「自己をひらき共に生きる“学び舎えひめ”の創造」のもと、「豊かな人間性と生きる力を培う自律的学びの促進」「多様な主体が連携・協働する社会基盤の整備」「個と社会の学びが循環する『知の循環型社会えひめ』の構築」の三つを基本理念に据え、その実現のために14の基本施策、55の具体的施策、347の施策項目からなる施策を実施しました。

平成23年度から26年度の過去4年間の評価結果の概要は、次のとおりです。

(1) 55の具体的施策に照らした評価

A評価は、12項目から18項目に増加している。

B評価は、25 項目から 31 項目に増加している。

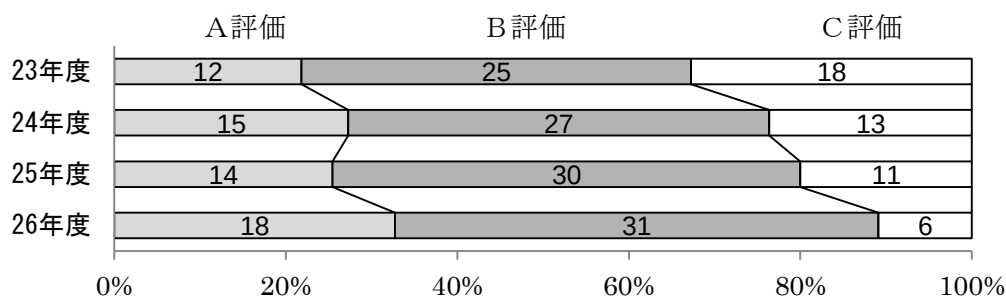
C評価は、18 項目から 6 項目に減少している。

※ 評価の基準

施策項目における A の割合が 70%以上の場合…………… A

〃 30%以上 70%未満の場合…………… B

〃 30%未満の場合…………… C



	23 年度		24 年度		25 年度		26 年度	
	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合
A 評価	12	22%	15	27%	14	25%	18	33%
B 評価	25	45%	27	49%	30	55%	31	56%
C 評価	18	33%	13	24%	11	20%	6	11%
計	55	100%	55	100%	55	100%	55	100%

(2) 347 の施策項目の評価

A評価は、167 項目から 208 項目に増加している。

B評価は、97 項目から 108 項目に増加している。

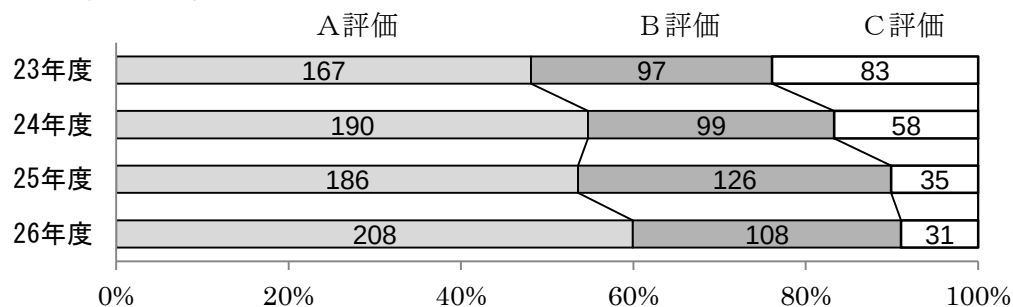
C評価は、83 項目から 31 項目に減少している。

※ 評価の基準

現状が目標を上回っている場合…………… A

概ね目標どおりの場合…………… B

現状が目標を下回っている場合や事業を中止・休止した場合… C



	23 年度		24 年度		25 年度		26 年度	
	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合
A 評価	167	48%	190	55%	186	54%	208	60%
B 評価	97	28%	99	29%	126	36%	108	31%
C 評価	83	24%	58	16%	35	10%	31	9%
計	347	100%	347	100%	347	100%	347	100%

(3) 課題と今後の取組み

「具体的な施策」及び「施策項目」の評価結果からは、着実に前計画が進行したことが推察できます。しかしながら、具体的な施策のC評価項目数が6(11%)あるなど、まだ十分とは言えません。そこで、第四次計画においては、各事業実施主体に対して、今後とも、これらの施策の推進に向けて要請を行っていくとともに、次のような基本目標の考え方のもと、推進計画を設定し、その実現に努めていくこととしています。

3 基本目標

「誰もが主役で輝き続ける“学び舎えひめ”の創造」

(1) 生涯学習の理念と必要性

今日の変化の激しい社会を生き抜くためには、生涯にわたって学習を続けることが、現代人にとって必須の条件となっています。そうしたところから、教育基本法も改定され、生涯学習の理念や必要性について、第3条において「国民一人一人が自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」と規定されました。

したがって、今求められているのは、生涯学習をいかに推進していくか、その具体策を示すところにあります。その前に、本県における生涯学習の実態と、どういう点で生涯学習が必要とされるのかを明らかにする必要があります。

(2) 基本目標設定の考え方

本計画策定に際して実施したアンケートによると、県内成人における生涯学習参加率（仕事や学校関係以外の「定期的な学習活動」）は25.7%であり、内閣府が平成24年7月に実施した「生涯学習に関する世論調査」（1年間に、自ら進んで学ぶ「生涯学習」をしたことがあるという回答）57.1%と比べて、極めて低い状況にあります。また、不参加の理由として、「参加する時間がない」50.6%、「活動に興味がない」20.0%と続いており、一人一人が輝いた生き方をしていくためにも、自己実現を図り生活を向上させるためにも、誰もが生涯学習に取り組む機運の向上や仕組みづくりが求められているところです。

また、少子高齢化が進行する中で、独り暮らしや孤独死などの問題が起こっています。核家族化やひとり親世帯の増加、地域社会の人間関係の希薄化などによって、子育て環境は変化し、子どもや子育て家庭の孤立化、さらには貧困など多くの問題が起こっています。これらの問題を解決していくためには、一人一人が社会の担い手として、自主的にかつ協働して取り組んでいく必要があります。福祉や防災、環境美化、子育て文化の継承など、さまざまな喫緊の社会的課題が山積していますが、それらの解決に生涯学習が大きな役割を果たすものとして期待されています。

4 施策の方向性

(1) 主体的に学習活動をひろげる

誰もが輝き続けるためには、人生のあらゆる段階や場面において、自らに適した手段・方法で、必要に応じて適切な学習の機会が見出せるような環境整備が重要です。また、社会の変化に柔軟に適応し、主体的に生きていく力を身に付けるためには、社会的な課題に対して体験型学習、問題発見・解決型の学習機会を充実していくことが求められます。

(2) 学びの仕組みを協働でつくる

少子高齢化、引きこもり、環境汚染などの社会的な課題に関しては、地域住民をはじめ多様な担い手が互いに連携を強め、学び合い支え合いながら、協働して取り組んでいくことが重要です。また、その場合、新しい公共の担い手として、それぞれの個性や価値観の違いを認めつつ、それぞれの持ち味を発揮して解決に当たるといふ、主体的に生きながら社会に参画できる仕組みをつくっていく必要があります。

(3) 学びの成果をまちづくりにつなぐ

これら“学び”の促進のためには、個人の学習成果が社会全体で正しく評価され、活用される仕組みや風土づくりが重要です。学びの成果をまちづくりに活かしていく中で課題に直面すれば、そこからまた新たな学習に取り組むという学びと実践とが循環する社会づくりが求められます。また、自分が有している知識・技術や経験を他者に伝える、伝えられた他者が新たな学習者に伝えていくなど、こうした学びを基本にコミュニティを創造する「知の循環型『生涯学習社会』」づくりが希求されています。

本県では、上記三つの施策の方向性を柱とする基本目標「誰もが主役で輝き続ける“学び舎えひめ”の創造」を設定し、その実現を目指していきます。

5 生涯学習推進計画の性格・期間・構成

(1) 性 格

アカウンタビリティ(説明責任)の観点から、「生涯学習に関する参加状況や意識等の向上」を推進指標として新設します。また、計画3年目並びに最終年度には、各地域・各世代に配慮したアンケート調査を実施することとしており、県民の皆様のニーズを踏まえながら、防災や減災、青少年の健全育成など、地域における諸課題の解決に資する計画を目指します。

そして、本計画が、各市町の実態や課題に応じて多面的かつ柔軟に検討され、それぞれの計画策定につながることを期待します。

(2) 期 間

本計画の期間は、平成28年度から概ね5年間と定め、社会の状況変化や施策の成果に対する評価を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

(3) 構 成

本計画における生涯学習関連施策体系の構成は、以下のとおりです。
(詳細は、P30 施策体系図 参照)

基本目標(1)

「誰もが主役で輝き続ける“学び舎えひめ”の創造」

施策の方向性(3)

- 主体的に学習活動をひろげる
- 学びの仕組みを協働でつくる
- 学びの成果をまちづくりにつなぐ

推進施策(18)

推進指標(28)

第2部 推進施策と連携・協働の方向性

I 主体的に学習活動をひろげる

施策の方向性 I 「主体的に学習活動をひろげる」

推進施策 1

「県民の生涯学習に関する参加状況と意識の向上」

【現状と課題】

急速な社会変化にあつて、学校卒業までに身に付けた能力だけでは不十分であり、社会に出た後も学び続ける必要性が指摘されています。生涯学習においても、趣味・娯楽・健康・教養に関することだけでなく、職業上必要な知識・技能や資格取得などへの関心が高まっています。

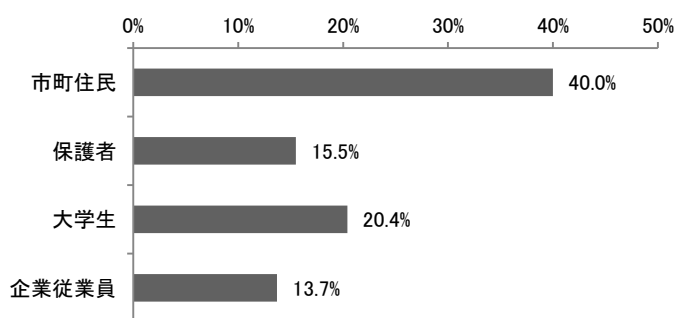
このため、多様化・高度化する学習ニーズを的確に把握するとともに、各世代や地域に応じた「生涯を通じて学び続けるための支援」が求められます。



【今後の主な取り組み】

- 本計画においては、中間年度(平成 30 年度)及び最終年度(平成 32 年度)に県民アンケートを実施し、県民の意向やニーズを的確に把握するよう努めます。
- さらに、県民の意向やニーズをはじめとする客観的データの分析から、学習意欲の醸成、学習機会の充実など、主体的な学びにつなげていきます。

対象別にみる仕事や学校関係以外の「定期的な学習活動」実施率



生涯学習へ参加している県民(成人)は4人に1人にとどまっており、特に保護者や企業従業員の参加割合が低くなっています。

【詳細については、参考資料参照】

NO	推進指標	現状値	目標(H32 年度)
1	県民の生涯学習への参加割合	25.7% (H27 年度)	50%
2	今後、生涯学習へ参加したいと思う県民の割合	72.4% (H27 年度)	75%

施策の方向性 I 「主体的に学習活動をひろげる」

推進施策 2

「生涯学習関連施設の充実」

【現状と課題】

生涯学習関連施設への要望には、異世代交流による地域活性化への取組み、ユニバーサルデザインの視点を加味した事業企画、利用時間の拡大、幅広い学習情報の発信など、ハード面よりソフト面を重視した意見が多く寄せられています。そのため、これからの施設運営に当たっては、ボランティアをはじめ、多様な主体の参画を進めるなど、より学習者の利便性に配慮した運営が求められます。



【今後の主な取組み】

- 県立のみならず、市町立の生涯学習関連施設（公民館、図書館、登録博物館及び博物館類似施設、生涯学習センター、青少年ふれあいセンター）における利用者数から、県民による生涯学習への参加状況を把握します。
- 県民の多様な学習活動を支援するとともに、県民による地域課題の解決や学校・家庭・地域との連携・協働による教育力の向上の拠点となるよう、体験講座や各種事業の充実に努めます。



NO	推進指標	現状値	目標(H32 年度)
3	県民一人あたりの生涯学習関連施設の利用回数	4.2 回 (H26 年度)	4.4 回 (H30 年度)
4	県内公立図書館の県民1人当たりの年間貸出冊数	4.7 冊 (H26 年度)	4.9 冊 (H30 年度)

施策の方向性 I 「主体的に学習活動をひろげる」

推進施策 3

「青少年の社会参画のための学習機会の充実」

【現状と課題】

次代を担う青少年の健全育成は社会全体の責務であり、生涯学習の出発点に立って子どもたちに社会参画の機会を提供することが不可欠です。

そのため、ボランティア活動、自然体験活動をはじめ、勤労生産体験活動、職業体験活動、芸術・文化体験活動など、多様な体験・交流活動を学校内外において、多様な主体で実施し、充実させていくことが求められます。

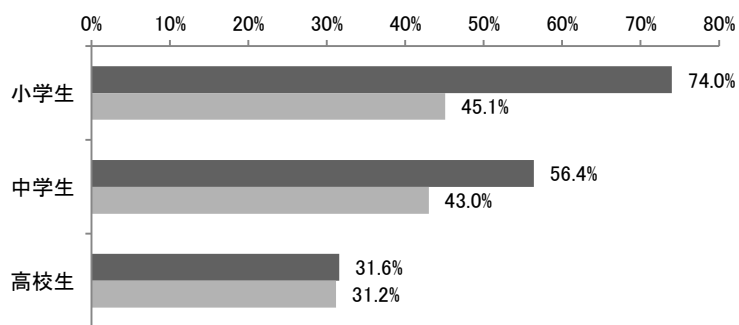


【今後の主な取組み】

- 青少年の自主性・自発性を育てるため、体験活動の企画・運営に青少年自らが主体的に参画できるプログラムを設定します。
- 地域の教育資源と青少年とをつなぎ支える指導者を育成し、適正な配置に努めます。
- 青少年の健全育成を社会全体の課題として捉え、各種行政機関や団体・企業等を包括したネットワーク構築に努めます。

(上段)習い事、学校行事以外の地域イベント等への各参加率

(下段)学校行事以外のボランティア活動への各参加率



【詳細については、参考資料参照】

何かの習い事に通ったり地域のイベント等に参加したりしている青少年は、進学するにつれて急激に減少しています。

また、ボランティア活動への参加も、進学するにつれて減少していますが、青少年全体でも4割にとどまっています。

NO	推進指標	現状値	目標 (H32 年度)
5	地域行事に参加している小中学生の割合	小 73.6% 中 61.1% (H27 年度)	小 75% 中 65%

推進施策 4

「多様な主体や場による学習機会の提供」

【現状と課題】

経済のグローバル化、インターネットの普及を主とする高度情報化の進展などによる経済や社会の変化により、地域社会においては個性豊かな地域文化の創造が課題となっています。

そのため、多くの情報を正しく取捨選択・習得することはもとより、学習で得た成果を住民同士のつながりの再構築やふるさとづくり、地域創生に活かすことが重要です。



【今後の主な取り組み】

- 住民や市町と連携・協働しながら、学習会や地域の「記憶を記録する」調査研究を行い、ふるさとを見つめ直し、“ふるさとらしさ”を再発見・再確認する活動を推進します。
- 各市町における機関・団体・施設も含めて、愛媛全体を一つの“学び舎”として捉え、各種講座等、多くの学習機会の提供に努めます。
- 個人の趣味・教養の向上を図るための学習機会の提供にとどまらず、現代的課題や地域独自の課題について学び、さらにはその学習成果を日常の実践に結び付けていく機会の拡充に努めます。



NO	推進指標	現状値	目標(H32年度)
6	「ふるさと愛媛学」の成果を生かした学校への出前講座・出前授業開催市町数	8/20 市町 (H26年度)	12/20 市町
7	学び舎えひめ悠々大学の対象講座登録数	1,108 件 (H26年度)	1,400 件 (平成30年度)

施策の方向性 I 「主体的に学習活動をひろげる」

推進施策 5

「生涯スポーツ等を通じた県民同士の学びや交流の促進」

【現状と課題】

ライフスタイルの多様化や自由時間の増大により、生活の豊かさや心身の安定を求めて、生涯スポーツに対する関心が高まっています。1年間に、どのような生涯学習をしたことがあるかを聞いた「生涯学習に関する世論調査」（平成24年7月 内閣府）においても、「健康・スポーツ」との回答者の割合が30.4%と最も高くなっています。

そのため、人々の生活の一部として、生涯スポーツがより一層定着するように、活動拠点や活動機会の整備・充実などが求められます。



【今後の主な取組み】

- 子どもから高齢者に至るまでの誰もが、自分のニーズにあった様々なスポーツを気軽に楽しみ、コミュニケーションを図るため、総合型地域スポーツクラブの設置を進めます。
- えひめ国体の開催を契機として、開催競技種目と身近に触れあう場の提供を進めるなど、県民の参加機会拡充と意識高揚に努めます。



NO	推進指標	現状値	目標(H32年度)
8	総合型地域スポーツクラブ 設置箇所数	41箇所 (H26年度)	68箇所 (H30年度)

Ⅱ 学びの仕組みを協働でつくる

施策の方向性 II 「学びの仕組みを協働でつくる」

推進施策 6

「県民の社会教育活動への参加状況と意識の向上」

【現状と課題】

本格的な人口減少社会の到来により、地域社会を構成する各組織の機能や、伝統文化催事、自主防災などの活動の衰退が危惧されています。

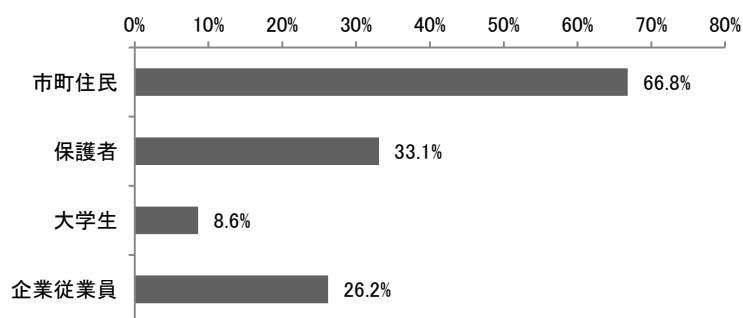
このため、地域社会を担う「個」が共に支え合い、知恵と力を出し合いながら「公」を担っていくことが求められています。



【今後の主な取り組み】

- 県民の地域活動、公民館活動等への参加割合及び参加意向等の定期的な把握と分析から、新たな公共に資するための学習機会の創設を目指します。
- 地域住民の最も身近な生涯学習施設である公民館等において、住民が主体的に運営に参画していく仕組みづくりや、学校、PTA、NPO、企業等の各種団体との連携を促進していきます。

対象別にみる地域の活動や公民館活動等への参加率



地域の活動や公民館活動等に参加している県民(成人)は4割を超えますが、市町住民は3人に2人の参加率に対して、大学生は1割にも満たないなど差が見られます。

【詳細については、参考資料参照】

NO	推進指標	現状値	目標(H32年度)
9	県民の地域活動、公民館活動等への参加割合	43.5% (H27年度)	50%
10	県民の地域活動、公民館活動等へ参加したいと思う割合	67.4% (H27年度)	70%

推進施策 7

「生涯学習情報の提供と学習相談の充実」

【現状と課題】

近年、インターネットの普及など社会の急速な情報化の進展により、個人が収集することのできる生涯学習情報が、飛躍的に拡大しています。

そのため、個人の情報リテラシーの向上をはじめ、情報格差の解消を図るための学習機会の拡充が求められます。さらには、民間で実施している学習サービスも含めた生涯学習情報を体系的に提供するなど、いつでも気軽に学習相談のできる体制整備が必要とされています。



【今後の主な取組み】

- 民間教育事業者、NPO など、各種学習団体・グループ等との連携を図り、生涯学習に関する多様な情報をデータベース化し、県民に提供できるよう生涯学習情報システムを充実します。
- 有益な生涯学習情報の存在を広く周知するため、ホームページへの掲載やメールマガジンの配信をはじめ、広報紙の活用など、各種ツールとネットワークを通じて、啓発活動を展開します。
- インターネットによる学習相談の実施や、学習者が自由に情報・意見交換できるサービスなど、生涯学習支援システムの機能を拡充します。



NO	推進指標	現状値	目標(H32 年度)
11	生涯学習情報システムの講座等登録件数	2,675 件 (H26 年度)	3,000 件

推進施策 8

「学校・家庭・地域の連携による教育の推進」

【現状と課題】

近年、地域社会の連帯感の希薄化などから、地域の教育力の低下が課題となっています。地域には、学校や家庭と異なる多くの教育資源が存在しています。そのため、学校や社会教育施設を拠点とした施策展開に、より多くの地域人材が教育に参画できる体制整備や情報提供など、これまで以上に教育施設の開放や連携の促進が求められています。



【今後の主な取組み】

- 教育プログラムの開発・提案・改良等を実施する地域教育コーディネーターの配置など、住民自身が子どもの教育活動を支援する仕組みを通じて、学校、家庭、地域のそれぞれが役割を果たし、連携・協働しながら、地域全体で子どもを育てる意識の醸成を図っていきます。
- 社会教育関係団体をはじめ、各種行政機関や企業、NPO 等を包括したネットワークを形成し、社会総がかりで取り組む教育を推進します。



NO	推進指標	現状値	目標 (H32 年度)
12	学校支援ボランティア活動により、学校の教育水準の向上に効果があったと回答した小中学校の割合	小 94.8% 中 89.4% (H27 年度)	小 95% 中 90%
13	子どもの教育活動支援や家庭教育支援等に携わった地域住民の人数	82,383 人 (H26 年度)	100,000 人

推進施策 9

「民間等との協働による社会貢献・教育活動の提供」

【現状と課題】

行政だけでなく、企業や NPO、高等教育機関等がそれぞれの役割を果たしつつ、協働による学びの機会を創造することで、地域づくりに寄与する取り組みが求められています。

その実現には、行政が県民へ参画を促す啓発活動はもとより、企業、学校、各種施設・研究機関など、多様な主体が有する人・もの・情報を共有・活用し、有機的なネットワークを形成していくことが重要です。



【今後の主な取り組み】

- 県民の学習ニーズの専門化、高度化に対応していくため、行政・高等教育機関・企業の間で連携し、リカレント教育内容の周知、同教育制度への理解促進など、啓発活動に努めます。
- 社会的責任を重視し、環境問題への配慮、地域社会への貢献などを行う企業・団体・NPO 等をデータベース化することで、学校教育及び家庭教育の支援体制を充実します。



NO	推進指標	現状値	目標(H32 年度)
14	えひめ学校教育サポーター企業 登録企業・団体数	154 企業・団体 (H26 年度)	200 企業・団体
15	えひめ家庭教育サポート企業 連携事業協定締結企業数	59 社 (H26 年度)	85 社

推進施策 10

「多様な主体による次世代育成支援事業の充実」

【現状と課題】

次世代を担う青少年の健全育成は社会全体の願いであり、地域の子どもは地域で育てるという意識を社会総がかりで醸成していくことが求められています。その実現には、愛護班・婦人会などの社会教育関係団体をはじめ、ボランティアやNPO等との連携を推進するとともに、地域をあげて放課後の子どもたちの安心・安全な居場所づくりに努めるほか、様々な体験・交流活動を充実させることが重要です。



【今後の主な取り組み】

- 社会教育関係団体等との連携・協働による多様な体験・交流活動の提供により、子どもたちの健やかな学びを支援します。
- 地域の実情に応じて、放課後における子どもたちの安全・安心な居場所づくりに努めます。
- 教育専門職員をはじめ、次世代育成に関わるあらゆる指導者の専門的・技術的な研修機会を職務別・経験別に実施し、その資質、能力の向上に努めます。



NO	推進指標	現状値	目標(H32年度)
16	一体型の放課後児童クラブ及び放課後子供教室の設置数	22 教室 (H26 年度)	30 教室
17	子どもを対象とした芸術文化事業参加者満足度	95.0% (H26 年度)	95%

推進施策 11

「地域を見つめ直すための連携体制の充実」

【現状と課題】

少子高齢化や過疎化、家族形態の変容、価値観の多様化に伴う人間関係の希薄化などが指摘される中、地域の歴史・文化や様々な事象を多方面から学ぶことは、単なる知識の習得にとどまらず、地域の良さを次世代に継承し、地域の未来の在り方を考えることにつながります。

このため、県民一人一人が様々な学びや活動を通して地域を知り、地域を見つめ直し、地域に誇りを持つことが求められます。



【今後の主な取り組み】

- 生涯学習センターを主体に、地域学に関する出前講座を開催するなど、学習機会の提供の充実を図るとともに、インターネット等を通じて研究成果を積極的に発信するよう努めます。
- 教科等を活用した郷土学習の実施、地域の偉人について理解を深める調査・研究活動など、学校教育との連携・協働により、自らの地域を学ぶ機会を設けることで、児童生徒の郷土愛を醸成します。
- 次世代に継承すべき地域文化に関連する事業を多様な主体と創造するとともに、その成果を県民と共有する「学びの場のネットワーク」の構築を目指します。



NO	推進指標	現状値	目標(H32年度)
18	「ふるさと愛媛学」普及推進事業における共同企画への参画市町数	17/20 市町 (H26年度)	20/20 市町

推進施策 12

「協働を支える指導者の養成」

【現状と課題】

協働によって県民の学習意欲を喚起し、幅広い学習活動を支援していくために、協働を支える指導者の果たす役割は非常に大きいものがあります。

高度化・多様化する学習ニーズに的確に応えていくためには、社会教育関係者、学校教育関係者のみならず、行政・民間を問わず幅広い分野において、専門的な知識・技術と生涯学習に対する理解を有した人材の育成が必要となっています。



【今後の主な取り組み】

- 社会教育主事、学芸員、司書等、行政機関における社会教育の専門的職員の適正な配置の徹底を図るとともに、職員の資質向上に資するための研修機会の充実を目指します。
- 教員研修の中に、積極的に生涯学習・社会教育に関するプログラムを盛り込み、生涯学習・社会教育に対する教員の認識を深めるよう努めます。
- 社会教育関係団体をはじめとする各種団体や企業・NPO などとの活発な情報交換により地域人材の発掘や指導者の養成に努めるとともに、各種交流による人的ネットワークづくりを促進します。



NO	推進指標	現状値	目標 (H32 年度)
19	市町における社会教育主事の配置率	12/20 市町 (H27 年度)	20/20 市町

Ⅲ 学びの成果をまちづくりにつなぐ

推進施策 13

「学習成果が循環する機会、体制の充実」

【現状と課題】

高等学校・大学までの学びが生涯にわたって通用する時代が、過去のものとなったと言われる今、学習の在り方が改めて問われています。

このため、社会に出た後も、夢や志を持って誰もが学び続けられる体制と、学習の成果を循環する機会の充実が求められています。



【今後の主な取り組み】

- 生涯学習センターを中心とする社会教育施設において、円滑で適切な学習情報の提供や学習相談の実施、学習や活動の場の確保など、誰もが気軽に学習活動に参加できる環境づくりに努めます。
- 教育行政と労働・福祉行政はもとより、幅広い関係機関との連携を強化し、誰もが学び続けやすい環境を整えるとともに、学んだ成果が社会での活躍につながるような継続的な支援に努めます。



NO	推進指標	現状値	目標(H32年度)
20	学びの成果循環のための新たな取り組み(事業)設立数	—	5取り組み(事業)
21	生涯学習の講師として登録している延べ人数	782人 (H26年度)	800人 (H30年度)

推進施策 14

「生涯学習ボランティア活動への支援」

【現状と課題】

ボランティア活動は、学んだことを活かす場としてだけでなく、新たな学習や活動につながる側面もあり、生涯学習社会を形成していく上で、重要な意義を持つものです。

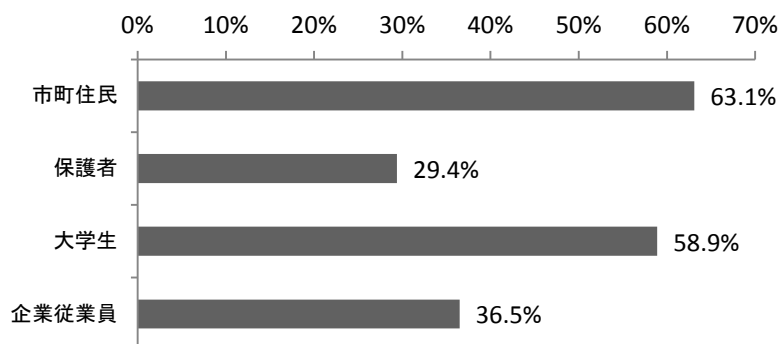
しかしながら、ボランティア活動に関心があり、参加したい意向があっても実際の活動につながっていないことが課題となっています。



【今後の主な取組み】

- 県民のボランティア活動の参加状況とニーズを把握するとともに、ボランティアとして活動したい人と、受け入れたい人とを結び付けるシステムの充実を図ります。
- 県民が多様なボランティア活動に取り組むことができるよう、ボランティア活動に関する意識啓発と情報提供に努めます。
- ボランティア活動に関する学習の機会を充実するとともに、研修機会を拡充するなど、活動の核となるリーダーの養成に努めます。

対象別にみるボランティア活動への参加率



ボランティア活動に参加している県民（成人）は半数弱ですが、市町住民では3人に2人程度が参加しているのに対して、保護者は3人に1人程度と差が見られます。

【詳細については、参考資料参照】

NO	推進指標	現状値	目標(H32年度)
22	県民のボランティア活動への参加割合	46.7% (H27年度)	60%
23	今後、ボランティア活動へ参加したいと思う県民の割合	70.2% (H27年度)	75%

推進施策 15

「社会教育施設の機能強化と利用促進」

【現状と課題】

生涯学習センターや総合科学・歴史文化両博物館の設置、市町における学習機会の拡充などにより、県民への学習機会の提供体制は、一定の水準まで整備がなされてきました。

しかしながら、本計画策定時に行った県民アンケートによると、定期的な学習活動へ参加したくない理由として「参加する時間がとれない」との回答が5割を超えており、時間的・地理的要因などで学習機会が制限されている人々への対応が課題となっています。



【今後の主な取組み】

- 従前の社会教育施設の機能に加えて、学校教育との連携・協働による事業の実施、指導者養成機能、市町間の調整機能など、総合的な学習拠点としての社会教育施設の機能を拡充していきます。
- 各種出前講座の実施をはじめ、eラーニングなど情報通信技術を活用した学習機会を充実することで、地域間格差の是正に努めます。
- 友の会等の組織を通して社会教育施設の運営への県民の積極的な参画を求めるとともに、その活動を支援して県民と一体となった施設の運営に努めます。



NO	推進指標	現状値	目標(H32年度)
24	博物館や科学館、図書館を利用した授業を実施した小中学校の割合	小 26.0% 中 12.1% (H27年度)	小 30% 中 15%

推進施策 16

「住民参画による地域づくりの推進」

【現状と課題】

着実に訪れる超高齢社会や少子化の進行を背景に、地域社会が抱える課題は、一層深刻さと複雑さが増している状況です。

そのため、地域社会を構成するすべての人々が地域づくりの当事者として問題意識を共有し、地域における諸課題を自らの課題として解決に取り組むなど、主体的な行動が求められます。



【今後の主な取組み】

- 子どもから大人まで、幅広い世代が参画する公民館活動を通して、地域づくり、人づくりが展開できるよう支援をします。
- 地域住民、地域づくり団体の自主的・主体的なまちづくり活動やボランティア・NPO 活動等を支援するとともに、必要な情報を積極的に提供していきます。
- まちづくり活動のリーダーの資質向上を図るため、地域での自主防災、安心・安全なまちづくりなどの自主的・実践的な研修等への支援を行うとともに、人的ネットワークの構築を図っていきます。



NO	推進指標	現状値	目標(H32 年度)
25	地域づくりリーダー数	192 人 (H26 年度)	342 人

推進施策 17

「社会の要請に関する学習機会の提供」

【現状と課題】

少子高齢化、家庭や地域における教育力の低下、ニート・フリーターの増加、環境・人権問題、防災意識の高揚など、社会全体で解決に取り組む必要のある“社会の要請”に関する課題が顕在化しています。

そのため、社会教育施設を中心とした学習機会の充実はもとより、県民の学びの成果を課題解決への具体的な行動に結び付けていくことが重要です。



【今後の主な取組み】

- 公民館等の社会教育施設において、“社会の要請”に関する課題についての学習が効果的に進められるよう、資料や情報提供の充実を図ります。
- 各課題に関する知識の普及や学習機会の充実に資するため、専門的知識を有する人材の育成に努めます。
- 学習成果が実際に課題解決の行動に結びつくよう、参加体験型の学習プログラムの開発に努め、市町や関係団体等の取組みを支援します。



NO	推進指標	現状値	目標(H32年度)
26	愛媛県人権・同和教育研究大会への参加者数	2,312人 (H26年度)	2,500人 (H30年度)
27	地域人材を活用した土曜教育推進事業における延べ教育支援者数	108人 (H26年度)	360人

推進施策 18

「生涯学習の成果発表・交流・体験機会の提供」

【現状と課題】

本計画策定時に実施した「生涯学習に関するアンケート」では、生涯学習の経験があると回答した成人は全体の 36.2%であり、前回調査の 31.9%より 4.3%増加しているものの、依然として低い状況にあります。

県社会教育実態調査においても、各種講座の参加者の固定化、成人男性の参加が少ないことなどが課題となっているため、生涯学習の成果発表・交流・体験機会を通じて、生涯学習への参加を促す必要があります。



【今後の主な取り組み】

- 子どもから高齢者までのあらゆる世代が、生涯学習の楽しさや必要性を体感できる生涯学習まつり等のイベントを企画・実施・充実させることにより、学習者同士が主体的に学び合い、教え合うなど、新たな学びと交流機会の創出に努めます。
- 各種広報活動により、学んだ成果を地域へ還元していくことや社会参画型・問題解決型学習の必要性などについて、意識の高揚を図っていきます。



NO	推進指標	現状値	目標 (H32 年度)
28	県が行う生涯学習に関する体験型イベント参加者数	18,000 人 (H26 年度)	20,000 人

IV 本計画の施策体系図

基本 目標		施策の 方向性		NO	推進施策	NO	推進指標	現状値	目 標 (平成32年度)	所管課
誰もが主役で輝き続ける“学び含えひめ”の創造	Ⅰ 主体的に学習活動をひろげる	1	県民の生涯学習に関する参加状況と意識の向上	1	県民の生涯学習への参加割合		25.7% (平成27年度)	50%	生涯学習課	
				2	今後、生涯学習へ参加したいと思う県民の割合		72.4% (平成27年度)	75%	生涯学習課	
		2	生涯学習関連施設の充実	3	県民一人あたりの生涯学習関連施設の利用回数		4.2回 (平成26年度)	4.4回 (平成30年度)	生涯学習課	
				4	県内公立図書館の県民1人当たりの年間貸出冊数		4.7冊 (平成26年度)	4.9冊 (平成30年度)	生涯学習課	
		3	青少年の社会参画のための学習機会の充実	5	地域行事に参加している小中学生の割合	小73.6% 中61.1% (平成27年度)	小75% 中65%	生涯学習課 義務教育課		
		4	多様な主体や場による学習機会の提供	6	「ふるさと愛媛学」の成果を生かした学校への出前講座・出前授業開催市町数	8/20市町 (平成26年度)	12/20市町	生涯学習課		
				7	学び含えひめ悠々大学の対象講座登録数	1,108件 (平成26年度)	1,400件 (平成30年度)	生涯学習課		
		5	生涯スポーツ等を通じた県民同士の学びや交流の促進	8	総合型地域スポーツクラブ設置箇所数	41箇所 (平成26年度)	68箇所 (平成30年度)	文化・スポーツ振興課		
	Ⅱ 学びの仕組みを協働でつくる	6	県民の社会教育活動への参加状況と意識の向上	9	県民の地域活動、公民館活動等への参加割合	43.5% (平成27年度)	50%	生涯学習課		
				10	県民の地域活動、公民館活動等へ参加したいと思う割合	67.4% (平成27年度)	70%	生涯学習課		
		7	生涯学習情報の提供と学習相談の充実	11	生涯学習情報システムの講座等登録件数	2,675件 (平成26年度)	3,000件	生涯学習課		
		8	学校・家庭・地域の連携による教育の推進	12	学校支援ボランティア活動により、学校の教育水準の向上に効果があったと回答した小中学校の割合	小94.8% 中89.4% (平成27年度)	小95% 中90%	生涯学習課 義務教育課		
				13	子どもの教育活動支援や家庭教育支援等に携わった地域住民の人数	82,383人 (平成26年度)	100,000人	生涯学習課		
		9	民間等との協働による社会貢献・教育活動の提供	14	えひめ学校教育サポーター企業 登録企業・団体数	154企業・団体 (平成26年度)	200企業・団体	生涯学習課		
				15	えひめ家庭教育サポート企業連携事業協定締結企業数	59社 (平成26年度)	85社	生涯学習課		
		10	多様な主体による次世代育成支援事業の充実	16	一体型の放課後児童クラブ及び放課後子供教室の設置数	22教室 (平成26年度)	30教室	生涯学習課		
				17	子どもを対象とした芸術文化事業参加者満足度	95.0% (平成26年度)	95%	文化・スポーツ振興課		
		11	地域を見つめ直すための連携体制の充実	18	「ふるさと愛媛学」普及推進事業における共同企画への参画市町数	17/20市町 (平成26年度)	20/20市町	生涯学習課		
		12	協働を支える指導者の養成	19	市町における社会教育主事の配置率	12/20市町 (平成27年度)	20/20市町	生涯学習課		
		Ⅲ 学びの成果をまちづくりにつなぐ	13	学習成果が循環する機会、体制の充実	20	学びの成果循環のための新たな取組み(事業)設立数	—	5取組み(事業)	生涯学習課	
	21				生涯学習の講師として登録している延べ人数	782人 (平成26年度)	800人 (平成30年度)	生涯学習課		
	14		生涯学習ボランティア活動への支援	22	県民のボランティア活動への参加割合	46.7% (平成27年度)	60%	生涯学習課		
				23	今後、ボランティア活動へ参加したいと思う県民の割合	70.2% (平成27年度)	75%	生涯学習課		
	15		社会教育施設の機能強化と利用促進	24	博物館や科学館、図書館を利用した授業を実施した小中学校の割合	小26.0% 中12.1% (平成27年度)	小30% 中15%	生涯学習課 義務教育課		
	16		住民参画による地域づくりの推進	25	地域づくりリーダー数	192人 (平成26年度)	342人	地域政策課		
	17		社会の要請に関する学習機会の提供	26	愛媛県人権・同和教育研究大会への参加者数	2,312人 (平成26年度)	2,500人 (平成30年度)	人権教育課		
				27	地域人材を活用した土曜教育推進事業における延べ教育支援者数	108人 (平成26年度)	360人	生涯学習課		
	18		生涯学習の成果発表・交流・体験機会の提供	28	県が行う生涯学習に関する体験型イベント参加者数	18,000人 (平成26年度)	20,000人	生涯学習課		

※ 参考資料

○ 県民アンケート

(単純集計結果、コメント、一部クロス集計)

① 「生涯学習に関するアンケート」(小学生・中学生・高校生)の調査結果について

問1 回答者の性別

	回答数	回答率
男	983	47.5%
女	1,088	52.5%
計	2,071	100.0%

問2 何かの習い事(進学塾・学習塾は除きます)に通ったり、学校の行事以外で地域のイベント等の活動に参加したりしますか。

	小学生										中学生						計	
	都市部		住宅部		小集落		都市部		住宅部		小集落							
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率		
よくある ときどきある めったにない まったくない 無効回答	90	41.7%	119	42.8%	70	36.1%	58	24.1%	51	19.6%	58	24.2%	58	9.0%	504	24.3%		
	71	32.9%	86	30.9%	73	37.6%	92	38.2%	68	26.2%	91	37.9%	145	22.6%	626	30.2%		
	29	13.4%	28	10.1%	34	17.5%	52	21.6%	81	31.2%	54	22.5%	208	32.4%	486	23.5%		
	22	10.2%	42	15.1%	13	6.7%	39	16.2%	57	21.9%	37	15.4%	230	35.8%	440	21.2%		
	4	1.9%	3	1.1%	4	2.1%	0	0.0%	3	1.2%	0	0.0%	1	0.2%	15	0.7%		
計	216	100.0%	278	100.0%	194	100.0%	241	100.0%	260	100.0%	240	100.0%	642	100.0%	2,071	100.0%		

「よくある」と回答した割合は、小学生40.6%、中学生22.5%、高校生9.0%と進学するにつれて低下している。
また、「よくある」「ときどきある」の割合の合計も、小学生74.0%、中学生56.4%、高校生31.6%と同じく進学するにつれて低下している。
「よくある」「ときどきある」の割合の合計を地域性別で見ると、小学生では違いはないが、中学生では都市部、小集落と比べて住宅部で2割弱低い。

問3 今後、何かの習い事(進学塾・学習塾は除きます)に通ったり、学校の行事以外で地域のイベント等の活動に参加したりしたいですか。

※1	小学生						中学生						計			
	都市部		住宅部		小集落		都市部		住宅部		小集落					
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率		
積極的に参加したい 興味があれば参加したい あまり参加したくない まったく参加したくない 無効回答	42	19.4%	54	19.4%	39	20.1%	37	15.4%	27	10.4%	37	15.4%	57	8.9%	293	14.1%
	144	66.7%	167	60.1%	126	64.9%	141	58.5%	148	56.9%	146	60.8%	377	58.7%	1,249	60.3%
	18	8.3%	38	13.7%	17	8.8%	47	19.5%	63	24.2%	37	15.4%	163	25.4%	383	18.5%
	9	4.2%	12	4.3%	11	5.7%	16	6.6%	21	8.1%	17	7.1%	44	6.9%	130	6.3%
	3	1.4%	7	2.5%	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%	3	1.3%	1	0.2%	16	0.8%
計	216	100.0%	278	100.0%	194	100.0%	241	100.0%	260	100.0%	240	100.0%	642	100.0%	2,071	100.0%

「いろいろなことに積極的に参加したい」と回答した割合は、小学生19.6%、中学生13.6%、高校生8.9%と進学するにつれて低下している。

また、「いろいろなことに積極的に参加したい」「とくに興味があることがあれば参加したい」の割合の合計も、小学生83.1%、中学生72.3%、高校生67.6%と同じく進学するにつれて低下している。

「いろいろなことに積極的に参加したい」「とくに興味があることがあれば参加したい」の割合の合計を地域性別で見ると、小学生では地域性による違いはないが、中学生では都市部、小集落と比べて住宅部で1割弱低い。

問4 問3で、「あまり参加したくない」または「まったく参加したくない」と答えた方に質問です。参加したいと思わないのはなぜですか。

※2	小学生						中学生						高校生		計	
	都市部		住宅部		小集落		都市部		住宅部		小集落					
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
活動に興味がない	8	29.6%	19	38.0%	16	57.1%	18	28.6%	25	29.8%	20	37.0%	49	23.7%	155	30.2%
興味がわく内容がない	4	14.8%	12	24.0%	8	28.6%	17	27.0%	25	29.8%	15	27.8%	47	22.7%	128	25.0%
参加する時間がとれない	11	40.7%	13	26.0%	2	7.1%	20	31.7%	21	25.0%	9	16.7%	96	46.4%	172	33.5%
場所や時期があわない	2	7.4%	2	4.0%	2	7.1%	3	4.8%	5	6.0%	2	3.7%	7	3.4%	23	4.5%
その他の理由	1	3.7%	2	4.0%	0	0.0%	1	1.6%	6	7.1%	4	7.4%	1	0.5%	15	2.9%
無効回答	1	3.7%	2	4.0%	0	0.0%	4	6.3%	2	2.4%	4	7.4%	7	3.4%	20	3.9%
計	27	100.0%	50	100.0%	28	100.0%	63	100.0%	84	100.0%	54	100.0%	207	100.0%	513	100.0%

小学生と中学生では「そのような活動には興味がない」と回答した割合が最も高く(小学生41.0%、中学生31.3%)、高校生では「参加する時間がとれない」と回答した割合が最も高い(46.4%)。

地域性別で見ると、小学生、中学生ともに都市部では「参加する時間がとれない」と回答した割合が最も高く(小学生40.7%、中学生31.7%)、住宅部と小集落では「そのような活動には興味がない」と回答した割合が最も高い(小学生住宅部29.8%、中学生住宅部29.8%※「興味がわく内容がない」と同率)、中学生小集落37.0%)。

問5 学校の行事以外で、ボランティア活動に参加したことがありますか。

	小学生 多岐な活動に多岐にわたって参加している。						中学生 都市部・住宅部・小集落						高校生 都市部・住宅部・小集落						計	
	都市部		住宅部		小集落		都市部		住宅部		小集落		都市部		住宅部		小集落			
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
よくある ときどきある めったにない まったくない 無効回答	15	6.9%	26	9.4%	22	11.3%	23	9.5%	15	5.8%	13	5.4%	23	3.6%	137	6.6%	23	3.6%	137	6.6%
	82	38.0%	104	37.4%	61	31.4%	86	35.7%	89	34.2%	93	38.8%	177	27.6%	692	33.4%	177	27.6%	692	33.4%
	71	32.9%	81	29.1%	74	38.1%	82	34.0%	91	35.0%	87	36.3%	254	39.6%	740	35.7%	254	39.6%	740	35.7%
	46	21.3%	50	18.0%	31	16.0%	50	20.7%	64	24.6%	45	18.8%	182	28.3%	468	22.6%	182	28.3%	468	22.6%
	2	0.9%	17	6.1%	6	3.1%	0	0.0%	1	0.4%	2	0.8%	6	0.9%	34	1.6%	6	0.9%	34	1.6%
計	216	100.0%	278	100.0%	194	100.0%	241	100.0%	260	100.0%	240	100.0%	642	100.0%	2,071	100.0%	642	100.0%	2,071	100.0%

「よくある」と回答した割合はどの学校種別でも1割に満たず、小学生9.2%、中学生6.9%、高校生3.6%と進学するにつれて低下している。また、「よくある」とときどきある」の割合の合計もどの学校種別でも5割に満たず、小学生45.1%、中学生43.0%、高校生31.2%と同じく進学するにつれて低下している。

「よくある」「ときどきある」の割合の合計を地域性別で見ると、小学生、中学生ともに地域性による違いはない。

問6 今後、学校の行事以外で、ボランティア活動に参加したいですか。

※1	小学生				中学生				高校生		計	
	都市部		小集落		都市部		小集落		都市部		小集落	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
積極的に参加したい 興味がわけば参加したい あまり参加したくない まったく参加したくない 無効回答	38	17.6%	50	18.0%	48	19.9%	42	17.5%	79	12.3%	332	16.0%
	132	61.1%	151	54.3%	123	51.0%	137	57.1%	363	56.5%	1,148	55.4%
	37	17.1%	49	17.6%	56	23.2%	45	18.8%	176	27.4%	466	22.5%
	7	3.2%	17	6.1%	14	5.8%	14	5.8%	23	3.6%	104	5.0%
	2	0.9%	11	4.0%	0	0.0%	2	0.8%	1	0.2%	21	1.0%
計	216	100.0%	278	100.0%	241	100.0%	240	100.0%	642	100.0%	2,071	100.0%

「いろいろなことに積極的に参加したい」と回答した割合は、小学生17.9%、中学生17.5%、高校生12.3%と進学するにつれて低下している。

また、「いろいろなことに積極的に参加したい」「とくに興味がわくことがあれば参加したい」の割合の合計も、小学生75.0%、中学生70.4%、高校生68.8%と同じく進学するにつれて低下している。

問7 問6で、「積極的に参加したい」または「興味がわけば参加したい」と答えた方に質問です。参加したいのは、どんな活動ですか。

※3 地域のお祭りや運動会 地域の自然や環境を守る 地域の伝統や文化を守る 募金やチャリティバザー 障がい者やお年寄りとの交流 防犯・防災 その他	小学生				中学生				高校生		計			
	都市部		小集落		都市部		小集落		住宅部		小集落			
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
	130	76.5%	143	71.1%	140	81.9%	131	76.2%	148	82.7%	348	78.7%	1,126	76.1%
	56	32.9%	61	30.3%	40	23.4%	48	27.9%	38	21.2%	83	18.8%	375	25.3%
	32	18.8%	48	23.9%	40	23.4%	25	14.5%	38	21.2%	87	19.7%	309	20.9%
	23	13.5%	35	17.4%	28	16.4%	24	14.0%	20	11.2%	89	20.1%	242	16.4%
	15	8.8%	12	6.0%	5	2.9%	15	8.7%	11	6.1%	36	8.1%	102	6.9%
	11	6.5%	21	10.4%	9	5.3%	8	4.7%	2	1.1%	17	3.8%	76	5.1%
	3	1.8%	3	1.5%	1	0.6%	1	0.6%	2	1.1%	5	1.1%	16	1.1%
回答者数	170		201		171		172		179		442		1,480	

どの学校種別でも「地域のお祭りや運動会などの活動」と回答した割合が最も高く(小学生69.6%、中学生80.3%、高校生78.7%)、小学生、中学生では「地域の自然や環境を守る活動」が二番目に高く(小学生32.2%、中学生24.1%)、高校生では「募金やチャリティバザーの活動」が二番目に高い(20.1%)。

地域性別で見ると、小学生、中学生ともどの地域性でも「地域のお祭りや運動会などの活動」と回答した割合が最も高く、「地域の自然や環境を守る活動」が二番目に高い(中学生の都市部と小集落では「地域の伝統や文化を守る活動」と同率)が、小学生では「地域のお祭りや運動会などの活動」の割合が都市部、住宅部と比べて小集落で1割以上低い。

問8 問6で、「あまり参加したくない」または「まったく参加したくない」と答えた方に質問です。参加したいと思わないのはなぜですか。

※2	小学生				中学生				高校生		計					
	都市部		住宅部		小集落		都市部		住宅部		小集落		高校生		計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
活動に興味が ない 興味がわく 内容がない 参加する 時間がと れない 場所や 時期が あわない その他の 理由 無効回 答	15	34.1%	26	39.4%	13	28.9%	26	37.1%	24	27.6%	18	30.5%	36	18.1%	158	27.7%
	12	27.3%	17	25.8%	18	40.0%	14	20.0%	27	31.0%	21	35.6%	51	25.6%	160	28.1%
	14	31.8%	13	19.7%	8	17.8%	21	30.0%	23	26.4%	8	13.6%	88	44.2%	175	30.7%
	2	4.5%	4	6.1%	3	6.7%	6	8.6%	4	4.6%	5	8.5%	10	5.0%	34	6.0%
	1	2.3%	3	4.5%	1	2.2%	0	0.0%	4	4.6%	2	3.4%	2	1.0%	13	2.3%
無効回 答	0	0.0%	3	4.5%	2	4.4%	3	4.3%	5	5.7%	5	8.5%	12	6.0%	30	5.3%
計	44	100.0%	66	100.0%	45	100.0%	70	100.0%	87	100.0%	59	100.0%	199	100.0%	570	100.0%

小学生と中学生では「そのような活動には興味がない」と回答した割合が最も高く(小学生34.8%、中学生31.5%)、高校生では「参加する時間がとれない」と回答した割合が最も高い(44.2%)。

地域性別で見ると、小学生の都市部と住宅部、中学生の都市部では「そのような活動には興味がない」と回答した割合が最も高く(小学生都市部34.1%、小学生住宅部39.4%、中学生都市部37.1%)、小学生の小集落と中学生の住宅部、小集落では「興味がわく内容がない」と回答した割合が最も高い(小学生小集落40.0%、中学生住宅部31.0%、中学生小集落35.6%)。

【クロス集計】

問5 × 問2

	よくある		ときどきある		めったにない		まったくない		無効回答		計	
	よくある		ときどきある		めったにない		まったくない		無効回答		計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
よくある	84	61.3%	211	30.5%	144	19.5%	60	12.8%	5	14.7%	504	24.3%
ときどきある	35	25.5%	284	41.0%	203	27.4%	97	20.7%	7	20.6%	626	30.2%
めったにない	8	5.8%	118	17.1%	252	34.1%	98	20.9%	10	29.4%	486	23.5%
まったくない	7	5.1%	73	10.5%	139	18.8%	212	45.3%	9	26.5%	440	21.2%
無効回答	3	2.2%	6	0.9%	2	0.3%	1	0.2%	3	8.8%	15	0.7%
計	137	100.0%	692	100.0%	740	100.0%	468	100.0%	34	100.0%	2,071	100.0%

学校の行事以外でのボランティア活動への参加の頻度が高いほど、習い事や学校の行事以外で地域のイベント等への参加の頻度(「よくある」「ときどきある」)の割合の合計が高くなる。

学校の行事以外でのボランティア活動への参加が「よくある」と回答した人の、習い事や学校の行事以外で地域のイベント等への参加が「よくある」「ときどきある」の割合の合計は86.8%だが、学校の行事以外でのボランティア活動への参加が「まったくない」と回答した人の、習い事や学校の行事以外で地域のイベント等への参加が「よくある」「ときどきある」の割合の合計は33.5%にとどまっている。

② 「生涯学習に関するアンケート」(大学生・社会人・保護者・祖父母)の調査結果について

問1 性別

	回答数	回答率
男	1,403	31.5%
女	3,043	68.4%
無効回答	5	0.1%
計	4,451	100.0%

問2 年齢

	回答数	回答率
10歳代	214	4.8%
20歳代	422	9.5%
30歳代	858	19.3%
40歳代	1,661	37.3%
50歳代	617	13.9%
60歳以上	662	14.9%
無効回答	17	0.4%
計	4,451	100.0%

問3 仕事や学校関係以外で、「定期的な学習活動」をしていますか。

【対象別】

※4	市町住民				保護者				大学生	企業従業員		計						
	東予		中予		南予		東予			中予								
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率				
している 以前はしていた していない 無効回答	217	44.1%	197	33.0%	304	43.0%	76	14.8%	99	16.2%	88	15.5%	73	13.7%	1,142	25.7%		
	61	12.4%	70	11.7%	73	10.3%	61	11.9%	54	8.8%	50	8.8%	44	8.3%	469	10.5%		
	209	42.5%	327	54.8%	322	45.5%	370	72.0%	458	74.8%	424	74.8%	411	77.4%	2,800	62.9%		
	5	1.0%	3	0.5%	8	1.1%	7	1.4%	1	0.2%	5	0.9%	3	0.6%	40	0.9%		
計	492	100.0%	597	100.0%	707	100.0%	514	100.0%	612	100.0%	567	100.0%	431	100.0%	531	100.0%	4,451	100.0%

【年齢別】

※4 している 以前はしていた していない 無効回答	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳以上		無効回答		計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
	49	22.9%	77	18.2%	147	17.1%	301	18.1%	165	26.7%	396	59.8%	7	41.2%	1,142	25.7%
	25	11.7%	64	15.2%	75	8.7%	180	10.8%	67	10.9%	57	8.6%	1	5.9%	469	10.5%
	137	64.0%	275	65.2%	634	73.9%	1,166	70.2%	378	61.3%	202	30.5%	8	47.1%	2,800	62.9%
	3	1.4%	6	1.4%	2	0.2%	14	0.8%	7	1.1%	7	1.1%	1	5.9%	40	0.9%
計	214	100.0%	422	100.0%	858	100.0%	1,661	100.0%	617	100.0%	662	100.0%	17	100.0%	4,451	100.0%

全体では「していない」と回答した割合が6割を超えており、「している」は4分の1である。対象別で見ると、市町住民全体では「している」が4割である一方、大学生では2割、保護者全体と企業従業員では1割台である。また、市町住民と保護者について教育事務所別にみると、市町住民は中予と比べて東予、南予で「している」が1割程度高く、東予では「している」が「していない」を上回っている。保護者は教育事務所別で特に違いはない。

さらに、年齢別で見ると、60歳以上では「している」が6割で「していない」を上回っているが、それ以外の年齢では「している」が1～2割台である。性別で見ると、男性と比べて女性には「している」が1割程度高い。

問4 今後、「定期的な学習活動」に参加したいと思いますか。
【対象別】

	市町住民						保護者						大学生		企業従業員		計	
	東予		中予		南予		東予		中予		南予							
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
※1	92	18.7%	69	11.6%	97	13.7%	24	4.7%	26	4.2%	19	3.4%	35	8.1%	19	3.6%	381	8.6%
積極的に参加したい	336	68.3%	395	66.2%	462	65.3%	299	58.2%	380	62.1%	383	67.5%	268	62.2%	315	59.3%	2838	63.8%
興味があれば参加したい	48	9.8%	110	18.4%	107	15.1%	140	27.2%	151	24.7%	126	22.2%	88	20.4%	140	26.4%	910	20.4%
あまり参加したくない	10	2.0%	21	3.5%	28	4.0%	45	8.8%	47	7.7%	28	4.9%	31	7.2%	52	9.8%	262	5.9%
まったく参加したくない	6	1.2%	2	0.3%	13	1.8%	6	1.2%	8	1.3%	11	1.9%	9	2.1%	5	0.9%	60	1.3%
無効回答																		
計	492	100.0%	597	100.0%	707	100.0%	514	100.0%	612	100.0%	567	100.0%	431	100.0%	531	100.0%	4451	100.0%

【年齢別】

	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳以上		無効回答		計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
※1	20	9.3%	38	9.0%	42	4.9%	71	4.3%	66	10.7%	144	21.8%	0	0.0%	381	8.6%
積極的に参加したい	138	64.5%	268	63.5%	534	62.2%	1,083	65.2%	402	65.2%	401	60.6%	12	70.6%	2,838	63.8%
興味があれば参加したい	38	17.8%	83	19.7%	196	22.8%	383	23.1%	117	19.0%	90	13.6%	3	17.6%	910	20.4%
あまり参加したくない	14	6.5%	29	6.9%	71	8.3%	106	6.4%	26	4.2%	15	2.3%	1	5.9%	262	5.9%
まったく参加したくない	4	1.9%	4	0.9%	15	1.7%	18	1.1%	6	1.0%	12	1.8%	1	5.9%	60	1.3%
無効回答																
計	214	100.0%	422	100.0%	858	100.0%	1,661	100.0%	617	100.0%	662	100.0%	17	100.0%	4,451	100.0%

全体では「とくに興味をわくことがあれば参加したい」と回答した割合が6割を超えており、続いて「あまり参加したいと思わない」が2割で、いろいろなことに積極的に参加したいは1割に満たない。対象別で見ると、市町住民全体のみ「いろいろなことに積極的に参加したい」が1割を超えている。また、市町住民と保護者について教育事務所別にみると、市町住民は中予、南予と比べて東予で「いろいろなことに積極的に参加したい」と「とくに興味をわくことがあれば参加したい」の割合の合計が1割程度高い。保護者は教育事務所別で特に違はない。

さらに、年齢別で見ると、どの年齢でも「とくに興味をわくことがあれば参加したい」が6割台で最も高いが、60歳以上では「いろいろなことに積極的に参加したい」が2割を超えてこれに続いているのに対し、それ以外の年齢では「いろいろなことに積極的に参加したい」が「あまり参加したいと思わない」を下回っている。性別でみると特に違はない。

問5 問4で、「積極的に参加したい」または「興味があれば参加したい」と答えた方に質問です。どのような「学習活動」に参加したいと思いますか。3つまで選んでください。

【対象別】

	市町住民						保護者						大学生		企業従業員		計									
	東予			中予			南予			東予									中予			南予				
	回答数	回答率		回答数	回答率		回答数	回答率		回答数	回答率		回答数	回答率		回答数	回答率		回答数	回答率		回答数	回答率			
仕事に必要な知識や技能 生活に役立つ知識や技能 育児、しつけ、教育問題 地域社会作りに関すること 老人介護、福祉に関すること ボランティア活動 時事・政治問題 一般教養 芸術・文化活動 スポーツやレクリエーション 趣味・稽古ごと その他の活動	91	21.3%		91	19.6%		91	16.3%		128	39.6%		139	34.2%		130	32.3%		128	42.2%		113	33.8%		911	28.3%
	157	36.7%		199	42.9%		244	43.6%		116	35.9%		156	38.4%		147	36.6%		92	30.4%		115	34.4%		1,226	38.1%
	47	11.0%		62	13.4%		52	9.3%		66	20.4%		62	15.3%		62	15.4%		35	11.6%		31	9.3%		417	13.0%
	82	19.2%		106	22.8%		121	21.6%		12	3.7%		16	3.9%		16	4.0%		32	10.6%		39	11.7%		424	13.2%
	52	12.1%		67	14.4%		95	17.0%		24	7.4%		63	15.5%		38	9.5%		37	12.2%		29	8.7%		405	12.6%
	72	16.8%		69	14.9%		91	16.3%		27	8.4%		31	7.6%		42	10.4%		94	31.0%		38	11.4%		464	14.4%
	15	3.5%		18	3.9%		21	3.8%		1	0.3%		7	1.7%		3	0.7%		12	4.0%		11	3.3%		88	2.7%
	53	12.4%		56	12.1%		63	11.3%		21	6.5%		27	6.7%		37	9.2%		23	7.6%		34	10.2%		314	9.8%
	84	19.6%		76	16.4%		96	17.2%		55	17.0%		69	17.0%		76	18.9%		65	21.5%		59	17.7%		580	18.0%
	168	39.3%		157	33.8%		203	36.3%		117	36.2%		161	39.7%		151	37.6%		89	29.4%		119	35.6%		1,165	36.2%
191	44.6%		173	37.3%		233	41.7%		168	52.0%		231	56.9%		221	55.0%		105	34.7%		170	50.9%		1,492	46.3%	
4	0.9%		1	0.2%		5	0.9%		0	0.0%		3	0.7%		1	0.2%		0	0.0%		1	0.3%		15	0.5%	
回答者数	428		464		559		323		406		402		303		334		3,219									

【年齢別】

	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳以上		無効回答		計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
仕事に必要な知識や技能	66	41.8%	137	44.8%	217	37.7%	364	31.5%	88	18.8%	36	6.6%	3	25.0%	911	28.3%
生活に役立つ知識や技能	46	29.1%	85	27.8%	176	30.6%	444	38.5%	217	46.4%	253	46.4%	5	41.7%	1,226	38.1%
育児、しつけ、教育問題	19	12.0%	39	12.7%	142	24.7%	161	14.0%	24	5.1%	29	5.3%	3	25.0%	417	13.0%
地域社会作りに関すること	23	14.6%	23	7.5%	33	5.7%	75	6.5%	97	20.7%	173	31.7%	0	0.0%	424	13.2%
老人介護、福祉に関すること	16	10.1%	26	8.5%	42	7.3%	119	10.3%	71	15.2%	129	23.7%	2	16.7%	405	12.6%
ボランティア活動	56	35.4%	55	18.0%	40	6.9%	109	9.4%	71	15.2%	132	24.2%	1	8.3%	464	14.4%
時事・政治問題	7	4.4%	10	3.3%	10	1.7%	11	1.0%	16	3.4%	34	6.2%	0	0.0%	88	2.7%
一般教養	11	7.0%	23	7.5%	39	6.8%	93	8.1%	62	13.2%	83	15.2%	3	25.0%	314	9.8%
芸術・文化活動	30	19.0%	59	19.3%	85	14.8%	210	18.2%	100	21.4%	94	17.2%	2	16.7%	580	18.0%
スポーツやレクリエーション	49	31.0%	120	39.2%	238	41.3%	470	40.7%	147	31.4%	136	25.0%	5	41.7%	1,165	36.2%
趣味・稽古ごと	49	31.0%	139	45.4%	277	48.1%	640	55.5%	195	41.7%	185	33.9%	7	58.3%	1,492	46.3%
その他の活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	0.6%	3	0.6%	5	0.9%	0	0.0%	15	0.5%
回答者数	158		306		576		1,154		468		545		12		3,219	

全体では「趣味・稽古ごと」と回答した割合が最も高く2割を超えており、「生活に役立つ知識や技能」と「スポーツやレクリエーション」がこれに続いて3割を超えている。対象別で見ると、保護者全体と企業従業員は「趣味・稽古ごと」が最も高く5割を超えている一方、市町住民全体では「生活に役立つ知識や技能」が、大学生では「仕事に必要な知識や技能」がそれぞれ最も高い。また、市町住民と保護者について教育事務所にみると、市町住民は東予で「趣味・稽古ごと」が、中予と南予で「生活に役立つ知識や技能」が最も高い。一方、保護者はどの教育事務所でも「趣味・稽古ごと」が最も高いが、東予では「仕事に必要な知識や技能」がこれに続いて高いのに対し、中予と南予では「生活に役立つ知識や技能」がこれに続いて高い。

さらに、年齢別で見ると、それぞれ最も高いのは10歳代では「仕事に必要な知識や技能」、20～40歳代では「趣味・稽古ごと」、50歳代と60歳以上では「生活に役立つ知識や技能」である。性別で見ると、男性と比べて女性では「趣味・稽古ごと」が2割程度高い一方、女性と比べて男性では「地域社会作りに関すること」が2割程度高い。

問6 問4で、「積極的に参加したい」または「興味があれば参加したい」と答えた方に質問です。「学習活動」の成果や、自分のもっている知識や技能を、公民館活動や地域の活動等に活用したいと思いますか。

【対象別】

	市町住民		東予		南予		東予		中予		南予		大学生		企業従業員		計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
積極的に活用したい	60	14.0%	75	16.2%	67	12.0%	17	5.3%	17	4.2%	20	5.0%	49	16.2%	18	5.4%	323	10.0%
とくに要請があれば活用したい	243	56.8%	240	51.7%	326	58.3%	149	46.1%	156	38.4%	194	48.3%	139	45.9%	166	49.7%	1,613	50.1%
報酬があれば活用したい	15	3.5%	15	3.2%	16	2.9%	25	7.7%	49	12.1%	22	5.5%	55	18.2%	21	6.3%	218	6.8%
活用したいと思わない	60	14.0%	76	16.4%	74	13.2%	80	24.8%	137	33.7%	111	27.6%	38	12.5%	97	29.0%	673	20.9%
その他	16	3.7%	9	1.9%	23	4.1%	10	3.1%	9	2.2%	14	3.5%	3	1.0%	9	2.7%	93	2.9%
無効回答	34	7.9%	49	10.6%	53	9.5%	42	13.0%	38	9.4%	41	10.2%	19	6.3%	23	6.9%	299	9.3%
計	428	100.0%	464	100.0%	559	100.0%	323	100.0%	406	100.0%	402	100.0%	303	100.0%	334	100.0%	3,219	100.0%

【年齢別】

	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳以上		無効回答		計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
積極的に活用したい	28	17.7%	37	12.1%	34	5.9%	73	6.3%	44	9.4%	107	19.6%	0	0.0%	323	10.0%
とくに要請があれば活用したい	71	44.9%	158	51.6%	267	46.4%	552	47.8%	259	55.3%	299	54.9%	7	58.3%	1,613	50.1%
報酬があれば活用したい	32	20.3%	34	11.1%	55	9.5%	80	6.9%	10	2.1%	7	1.3%	0	0.0%	218	6.8%
活用したいと思わない	18	11.4%	62	20.3%	144	25.0%	311	26.9%	93	19.9%	41	7.5%	4	33.3%	673	20.9%
その他	0	0.0%	1	0.3%	7	1.2%	39	3.4%	14	3.0%	32	5.9%	0	0.0%	93	2.9%
無効回答	9	5.7%	14	4.6%	69	12.0%	99	8.6%	48	10.3%	59	10.8%	1	8.3%	299	9.3%
計	158	100.0%	306	100.0%	576	100.0%	1,154	100.0%	468	100.0%	545	100.0%	12	100.0%	3,219	100.0%

全体では「とくに要請があれば活用したい」と回答した割合が5割を超えており、続いて「活用したいと思わない」が2割、「積極的に活用したい」が1割である。対象別で見ると、どの対象でも「とくに要請があれば活用したい」が最も高いが、市町住民全体と大学生では「積極的に活用したい」が1割を超えているのに対し、保護者全体と企業従業員では1割に満たず「活用したいと思わない」が3割に近い。この他、大学生では「報酬があれば活用したい」が2番目に高く2割に近い。また、市町住民と保護者について教育事務所別にみると、市町住民は教育事務所別で特に違いはないが、保護者は東予、南予と比べて中予で「とくに要請があれば活用したい」が1割程度低く、「報酬があれば活用したい」と活用したいと思わない」が高くなっている。

さらに、年齢別で見ると、10～20歳代では「積極的に活用したい」が1割を超えているが30～50歳代では1割を下回り、60歳以上で再び1割を超えている。また、「報酬があれば活用したい」は年齢が上がるにつれて割合が低下し、「活用したいと思わない」は40歳代までは年齢が上がるにつれて割合が上昇するが50歳代からは低下する。性別で見ると特に違いはない。

問7 問4で、「あまり参加したくない」または「まったく参加したくない」と答えた方に質問です。参加したいと思わないのはなぜですか。

【対象別】

※2 活動に興味がない 興味がわく内容がない 参加する時間とれない 場所や時期があわない その他の理由	市町住民						保護者						大学生						企業従業員						計					
	東予			中予			南予			東予			中予			南予			企業従業員			大学生			計					
	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率
無効回答	3	5.2%	5.2%	10	7.6%	7.6%	5	3.7%	3.7%	18	9.7%	9.7%	8	4.0%	4.0%	9	5.8%	5.8%	10	8.4%	8.4%	7	3.6%	3.6%	32	2.7%	2.7%	71	6.1%	6.1%
計	58	100.0%	100.0%	131	100.0%	100.0%	135	100.0%	100.0%	185	100.0%	100.0%	198	100.0%	100.0%	154	100.0%	100.0%	119	100.0%	100.0%	192	100.0%	100.0%	1,172	100.0%	100.0%	1,172	100.0%	100.0%

【年齢別】

※2 活動に興味がない 興味がわく内容がない 参加する時間がとれない 場所や時期があわない その他の理由	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳以上		無効回答		計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
無効回答	6	11.5%	8	7.1%	15	5.6%	29	5.9%	4	2.8%	7	8.6%	0	0.0%	71	6.1%
計	52	100.0%	112	100.0%	267	100.0%	489	100.0%	143	100.0%	105	100.0%	4	100.0%	1,172	100.0%

全体では「参加する時間がとれない」と回答した割合が5割を超えており、続いて「そのような活動に興味がない」が2割、「興味がわく内容がない」が1割半である。対象別で見ると、どの対象でも「参加する時間がとれない」が最も高いが、市町住民全体では「興味がわく内容がない」が2番目に高く、大学生では「そのような活動に興味がない」と「参加する時間とれない」がともに3割台である。また、市町住民と保護者について教育事務所別にみると、市町住民は東予、南予と比べて中予で「そのような活動に興味がない」が1割程度低く「参加する時間がとれない」が1割程度高い。保護者は教育事務所別で特に違いはない。

さらに、年齢別で見ると、どの年齢でも「参加する時間がとれない」が最も高いが、10～20歳代では3割台であるのに対して30～50歳代では5割を超え、60歳以上で再び3割台となる。また、「そのような活動に興味がない」は30～60歳以上では2割以下であるが、10～20歳代では3割に近い。また、性別で見ると、女性と比べて男性は「そのような活動に興味がない」が1割程度高い。

問8 地域の活動や公民館活動等に参加していますか。

【対象別】

※4	市町住民						保護者						大学生		企業従業員		計	
	東予		中予		南予		東予		中予		南予							
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
している	300	61.0%	413	69.2%	486	68.7%	169	32.9%	169	27.6%	222	39.2%	37	8.6%	139	26.2%	1,935	43.5%
以前はしていた	33	6.7%	51	8.5%	74	10.5%	101	19.6%	136	22.2%	95	16.8%	92	21.3%	60	11.3%	642	14.4%
していない	145	29.5%	125	20.9%	122	17.3%	218	42.4%	301	49.2%	239	42.2%	297	68.9%	318	59.9%	1,765	39.7%
無効回答	14	2.8%	8	1.3%	25	3.5%	26	5.1%	6	1.0%	11	1.9%	5	1.2%	14	2.6%	109	2.4%
計	492	100.0%	597	100.0%	707	100.0%	514	100.0%	612	100.0%	567	100.0%	431	100.0%	531	100.0%	4,451	100.0%

【年齢別】

※4	10歳代			20歳代			30歳代			40歳代			50歳代			60歳以上			計	
	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率		
	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率		
している	20	9.3%	70	16.6%	323	37.6%	677	40.8%	322	52.2%	518	78.2%	5	29.4%	1,935	43.5%				
以前はしていた	47	22.0%	61	14.5%	82	9.6%	287	17.3%	119	19.3%	45	6.8%	1	5.9%	642	14.4%				
していない	145	67.8%	283	67.1%	437	50.9%	658	39.6%	166	26.9%	67	10.1%	9	52.9%	1,765	39.7%				
無効回答	2	0.9%	8	1.9%	16	1.9%	39	2.3%	10	1.6%	32	4.8%	2	11.8%	109	2.4%				
計	214	100.0%	422	100.0%	858	100.0%	1,661	100.0%	617	100.0%	662	100.0%	17	100.0%	4,451	100.0%				

全体では「している」の割合がいずれも4割程度であるが、「している」の方が高い。対象別でみると、市町住民全体では「している」が3分の2に達している一方、保護者全体では3分の1、企業従業員では4分の1程度であり、大学生では1割に満たない。また、市町住民と保護者について教育事務所別にみると、市町住民は東予と比べて中予、南予で「している」が1割程度高く、保護者は中予と比べて南予で「している」が1割程度高い。

さらに、年齢別でみると、「している」は年齢が上がるにつれて高くなっていき、40歳以上で「していない」を上回っている。性別でみると、女性と比べて男性は「している」が1割程度高い。

問9 今後、地域の活動や公民館活動等に参加したいですか。

【対象別】

※1	市町住民						保護者						大学生		企業従業員		計	
	東予			中予			東予			中予								
	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率
積極的に参加したい	116	23.6%	147	24.6%	147	20.8%	30	5.8%	17	2.8%	24	4.2%	32	7.4%	19	3.6%	532	12.0%
興味がわけば参加したい	286	58.1%	320	53.6%	419	59.3%	279	54.3%	330	53.9%	348	61.4%	233	54.1%	253	47.6%	2,468	55.4%
あまり参加したくない	50	10.2%	87	14.6%	83	11.7%	141	27.4%	202	33.0%	139	24.5%	134	31.1%	189	35.6%	1,025	23.0%
まったく参加したくない	10	2.0%	12	2.0%	10	1.4%	31	6.0%	45	7.4%	26	4.6%	29	6.7%	39	7.3%	202	4.5%
無効回答	30	6.1%	31	5.2%	48	6.8%	33	6.4%	18	2.9%	30	5.3%	3	0.7%	31	5.8%	224	5.0%
計	492	100.0%	597	100.0%	707	100.0%	514	100.0%	612	100.0%	567	100.0%	431	100.0%	531	100.0%	4,451	100.0%

【年齢別】

※1	10歳代			20歳代			30歳代			40歳代			50歳代			60歳以上			計	
	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率		
	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率		
積極的に参加したい	14	6.5%	41	9.7%	64	7.5%	123	7.4%	92	14.9%	198	29.9%	0	0.0%	532	12.0%				
興味がわけば参加したい	130	60.7%	219	51.9%	471	54.9%	939	56.5%	356	57.7%	343	51.8%	10	58.8%	2,468	55.4%				
あまり参加したくない	59	27.6%	123	29.1%	229	26.7%	444	26.7%	115	18.6%	52	7.9%	3	17.6%	1,025	23.0%				
まったく参加したくない	11	5.1%	30	7.1%	61	7.1%	73	4.4%	20	3.2%	6	0.9%	1	5.9%	202	4.5%				
無効回答	0	0.0%	9	2.1%	33	3.8%	82	4.9%	34	5.5%	63	9.5%	3	17.6%	224	5.0%				
計	214	100.0%	422	100.0%	858	100.0%	1,661	100.0%	617	100.0%	662	100.0%	17	100.0%	4,451	100.0%				

全体では「とくに興味があわくことがあれば参加したい」と回答した割合が5割を超えており、続いて「あまり参加したいと思わない」が2割程度、「いろいろなことに積極的に参加したい」が1割程度である。対象別で見ると、市町住民全体のみの「いろいろなことに積極的に参加したい」が2割を超えており、その他の対象では1割に満たない。また、市町住民と保護者について教育事務所別で特に違いはない。

さらに、年齢別で見ると、どの年齢でも「とくに興味があわくことがあれば参加したい」が5割を超えているが、60歳以上では「いろいろなことに積極的に参加したい」が3割程度でこれに続いているのに対し、それ以外の年齢では「いろいろなことに積極的に参加したい」が「あまり参加したいと思わない」を下回っている。性別で見ると、女性と比べて男性は「いろいろなことに積極的に参加したい」が1割程度高い。

問10 問9で、「あまり参加したくない」または「まったく参加したくない」と答えた方に質問です。参加したいと思わないのはなぜですか。

【対象別】

※2	市町住民						保護者						大学生		企業従業員		計	
	東予		中予		南予		東予		中予		南予							
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率		
活動に興味がない 興味がわく内容がない 参加する時間がとれない 場所や時期があわない その他の理由 無効回答	10	16.7%	15	15.2%	16	17.2%	24	14.0%	46	18.6%	22	13.3%	44	27.0%	49	21.5%	226	18.4%
	11	18.3%	12	12.1%	21	22.6%	23	13.4%	34	13.8%	18	10.9%	42	25.8%	32	14.0%	193	15.7%
	27	45.0%	57	57.6%	43	46.2%	102	59.3%	133	53.8%	95	57.6%	61	37.4%	105	46.1%	623	50.8%
	3	5.0%	7	7.1%	3	3.2%	8	4.7%	10	4.0%	7	4.2%	8	4.9%	20	8.8%	66	5.4%
	5	8.3%	3	3.0%	6	6.5%	7	4.1%	12	4.9%	10	6.1%	2	1.2%	12	5.3%	57	4.6%
	4	6.7%	5	5.1%	4	4.3%	8	4.7%	12	4.9%	13	7.9%	6	3.7%	10	4.4%	62	5.1%
計	60	100.0%	99	100.0%	93	100.0%	172	100.0%	247	100.0%	165	100.0%	163	100.0%	228	100.0%	1,227	100.0%

【年齢別】

※2	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳以上		無効回答		計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
活動に興味がない 興味がわく内容がない 参加する時間がとれない 場所や時期があわない その他の理由 無効回答	13	18.6%	45	29.4%	51	17.6%	84	16.2%	22	16.3%	11	19.0%	0	0.0%	226	18.4%
	21	30.0%	37	24.2%	38	13.1%	62	12.0%	24	17.8%	9	15.5%	2	50.0%	193	15.7%
	29	41.4%	56	36.6%	154	53.1%	297	57.4%	67	49.6%	19	32.8%	1	25.0%	623	50.8%
	4	5.7%	7	4.6%	14	4.8%	28	5.4%	10	7.4%	3	5.2%	0	0.0%	66	5.4%
	0	0.0%	5	3.3%	15	5.2%	23	4.4%	5	3.7%	9	15.5%	0	0.0%	57	4.6%
無効回答	3	4.3%	3	2.0%	18	6.2%	23	4.4%	7	5.2%	7	12.1%	1	25.0%	62	5.1%
計	70	100.0%	153	100.0%	290	100.0%	517	100.0%	135	100.0%	58	100.0%	4	100.0%	1,227	100.0%

全体では「参加する時間がとれない」と回答した割合が5割を超えており、続いて「そのような活動に興味がない」が1割半程度である。対象別で見ると、どの対象でも「参加する時間がとれない」が最も高いが、市町住民全体では「興味があわく内容がない」が2番目に高く、大学生では「そのような活動に興味がない」と「興味があわく内容がない」がともに2割台である。また、市町住民と保護者について教育事務所別にみると、市町住民は東予、南予と比べて中予で「参加する時間がとれない」が1割程度高い。保護者は教育事務所別で特に違いはない。

さらに、年齢別で見ると、どの年齢でも「参加する時間がとれない」が最も高いが、特に30～40歳代では5割を超えている。また、「そのような活動に興味がない」は30～60歳以上では2割以下であるが、10歳代では3割に達し、20歳代でも3割に近い。また、性別で見ると特に違いはない。

問11 ボランティア活動に参加したことがありますか。

【対象別】

	市町住民						保護者						大学生		企業従業員		計			
	東 予			中 予			東 予			中 予										
	回答数	回答率		回答数	回答率		回答数	回答率		回答数	回答率		回答数	回答率		回答数		回答率		
よくある	109	22.2%		118	19.8%		145	20.5%	17	3.3%	16	2.6%	36	6.3%	58	13.5%	30	5.6%	529	11.9%
ときどきある	221	44.9%		249	41.7%		291	41.2%	131	25.5%	136	22.2%	162	28.6%	196	45.5%	164	30.9%	1,550	34.8%
めったにない	118	24.0%		153	25.6%		169	23.9%	206	40.1%	246	40.2%	233	41.1%	136	31.6%	192	36.2%	1,453	32.6%
まったくない	34	6.9%		67	11.2%		76	10.7%	138	26.8%	209	34.2%	123	21.7%	38	8.8%	127	23.9%	812	18.2%
無効回答	10	2.0%		10	1.7%		26	3.7%	22	4.3%	5	0.8%	13	2.3%	3	0.7%	18	3.4%	107	2.4%
計	492	100.0%		597	100.0%		707	100.0%	514	100.0%	612	100.0%	567	100.0%	431	100.0%	531	100.0%	4,451	100.0%

全体では「よくある」と「ときどきある」の割合が合わせて約7割に達している。対象別で見ると、市町住民は東予、南予と比べて中予で「よくある」と「ときどきある」の割合が最も高い。保護者は教育事務所別で特に違いはない。

さらに、年齢別で見ると、どの年齢でも「よくある」と「ときどきある」の割合が最も高いが、特に30～40歳代では5割を超えている。また、「めったにない」と「まったくない」の割合は30～60歳以上では2割以下であるが、10歳代では3割に達し、20歳代でも3割に近い。また、性別で見ると特に違いはない。

【年齢別】

	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳以上		無効回答		計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
よくある	33	15.4%	43	10.2%	33	3.8%	122	7.3%	94	15.2%	203	30.7%	1	5.9%	529	11.9%
ときどきある	98	45.8%	197	46.7%	221	25.8%	508	30.6%	259	42.0%	263	39.7%	4	23.5%	1,550	34.8%
めったにない	66	30.8%	133	31.5%	341	39.7%	634	38.2%	172	27.9%	101	15.3%	6	35.3%	1,453	32.6%
まったくない	16	7.5%	43	10.2%	252	29.4%	361	21.7%	76	12.3%	59	8.9%	5	29.4%	812	18.2%
無効回答	1	0.5%	6	1.4%	11	1.3%	36	2.2%	16	2.6%	36	5.4%	1	5.9%	107	2.4%
計	214	100.0%	422	100.0%	858	100.0%	1,661	100.0%	617	100.0%	662	100.0%	17	100.0%	4,451	100.0%

全体では「ときどきある」と「めったにない」の割合がいずれも3割を超えているが、「ときどきある」の方が高い。対象別で見ると、市町住民全体と大学生では「ときどきある」が4割を超えており最も高いが、保護者全体と企業従業員では「めったにない」が最も高く、さらに保護者全体では「まったくない」を上回っている。また、市町住民と保護者について教育事務所別にみると、市町住民は教育事務所別に特に違いはないが、保護者は中予のみ「まったくない」が3分の1を超えている。

さらに、年齢別で見ると、10～20歳代では「ときどきある」が最も高いが、30～40歳代では「めったにない」が最も高くなり、50歳以上でまた「ときどきある」が最も高くなる。性別で見ると、女性と比べて男性は「よくある」「ときどきある」がそれぞれ1割程度高い。

問12 今後、ボランティア活動に参加したいですか。

【対象別】

※1	市町住民						保護者						大学生		企業従業員		計	
	東予		中予		南予		東予		中予		南予		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率						
積極的に参加したい	80	16.3%	90	15.1%	110	15.6%	21	4.1%	20	3.3%	26	4.6%	71	16.5%	21	4.0%	439	9.9%
興味があれば参加したい	313	63.6%	379	63.5%	425	60.1%	286	55.6%	351	57.4%	352	62.1%	278	64.5%	301	56.7%	2,685	60.3%
あまり参加したくない	59	12.0%	98	16.4%	111	15.7%	151	29.4%	197	32.2%	149	26.3%	63	14.6%	158	29.8%	986	22.2%
まったく参加したくない	9	1.8%	12	2.0%	19	2.7%	25	4.9%	35	5.7%	15	2.6%	14	3.2%	31	5.8%	160	3.6%
無効回答	31	6.3%	18	3.0%	42	5.9%	31	6.0%	9	1.5%	25	4.4%	5	1.2%	20	3.8%	181	4.1%
計	492	100.0%	597	100.0%	707	100.0%	514	100.0%	612	100.0%	567	100.0%	431	100.0%	531	100.0%	4,451	100.0%

【年齢別】

※1	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳以上		無効回答		計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
積極的に参加したい	39	18.2%	53	12.6%	47	5.5%	83	5.0%	80	13.0%	137	20.7%	0	0.0%	439	9.9%
興味があれば参加したい	142	66.4%	270	64.0%	492	57.3%	1,016	61.2%	387	62.7%	366	55.3%	12	70.6%	2,685	60.3%
あまり参加したくない	27	12.6%	72	17.1%	241	28.1%	443	26.7%	115	18.6%	86	13.0%	2	11.8%	986	22.2%
まったく参加したくない	5	2.3%	18	4.3%	51	5.9%	60	3.6%	14	2.3%	12	1.8%	0	0.0%	160	3.6%
無効回答	1	0.5%	9	2.1%	27	3.1%	59	3.6%	21	3.4%	61	9.2%	3	17.6%	181	4.1%
計	214	100.0%	422	100.0%	858	100.0%	1,661	100.0%	617	100.0%	662	100.0%	17	100.0%	4,451	100.0%

全体では「とくに興味がおくことがあれば参加したい」と回答した割合が6割を超えており、続いて「あまり参加したいと思わない」が2割程度、「いろいろなことに積極的に参加したい」が1割程度である。対象別で見ると、市町住民全体と大学生では「いろいろなことに積極的に参加したい」が1割を超えている。また、市町住民と保護者について教育事務所別に特に違いはない。

さらに、年齢別で見ると、どの年齢でも「とくに興味がおくことがあれば参加したい」が5割を超えているが、10歳代と60歳以上では「いろいろなことに積極的に参加したい」がこれに続いているのに対し、それ以外の年齢では「いろいろなことに積極的に参加したい」が「あまり参加したいと思わない」を下回っている。性別で見ると特に違いはない。

問13 問12で、「あまり参加したくない」「まったく参加したくない」と答えた方に質問です。参加したいと思わないのはなぜですか。
【対象別】

※2	市町住民						保護者						大学生		企業従業員		計	
	東予		中予		南予		東予		中予		南予							
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
活動に興味がない	11	16.2%	15	13.6%	17	13.1%	25	14.2%	28	12.1%	20	12.2%	22	28.6%	43	22.8%	181	15.8%
興味がわく内容がない	13	19.1%	18	16.4%	21	16.2%	16	9.1%	24	10.3%	13	7.9%	14	18.2%	30	15.9%	149	13.0%
参加する時間がとれない	31	45.6%	62	56.4%	59	45.4%	113	64.2%	154	66.4%	110	67.1%	32	41.6%	94	49.7%	655	57.2%
場所や時期があわない	7	10.3%	7	6.4%	10	7.7%	10	5.7%	9	3.9%	11	6.7%	5	6.5%	7	3.7%	66	5.8%
その他の理由	4	5.9%	7	6.4%	13	10.0%	4	2.3%	5	2.2%	6	3.7%	3	3.9%	7	3.7%	49	4.3%
無効回答	2	2.9%	1	0.9%	10	7.7%	8	4.5%	12	5.2%	4	2.4%	1	1.3%	8	4.2%	46	4.0%
計	68	100.0%	110	100.0%	130	100.0%	176	100.0%	232	100.0%	164	100.0%	77	100.0%	189	100.0%	1,146	100.0%

【年齢別】

※2	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳以上		無効回答		計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
活動に興味がない	9	28.1%	26	28.9%	44	15.1%	71	14.1%	14	10.9%	17	17.3%	0	0.0%	181	15.8%
興味がわく内容がない	7	21.9%	19	21.1%	33	11.3%	62	12.3%	15	11.6%	13	13.3%	0	0.0%	149	13.0%
参加する時間がとれない	15	46.9%	34	37.8%	182	62.3%	314	62.4%	74	57.4%	34	34.7%	2	100.0%	655	57.2%
場所や時期があわない	1	3.1%	5	5.6%	17	5.8%	21	4.2%	12	9.3%	10	10.2%	0	0.0%	66	5.8%
その他の理由	0	0.0%	4	4.4%	7	2.4%	14	2.8%	7	5.4%	17	17.3%	0	0.0%	49	4.3%
無効回答	0	0.0%	2	2.2%	9	3.1%	21	4.2%	7	5.4%	7	7.1%	0	0.0%	46	4.0%
計	32	100.0%	90	100.0%	292	100.0%	503	100.0%	129	100.0%	98	100.0%	2	100.0%	1,146	100.0%

全体では「参加する時間がとれない」と回答した割合が6割を超えており、続いて「そのような活動に興味がない」が1割半程度、「興味がわく内容がない」が1割程度である。対象別で見ると、どの対象でも「参加する時間がとれない」が最も高いが、市町住民全体のみ「興味がわく内容がない」が2番目に高い一方、大学生と企業従業員では「そのような活動に興味がない」が2割を超えている。また、市町住民と保護者について教育事務所別にみると、市町住民は東予、南予と比べて中予で「参加する時間がとれない」が1割程度高い、保護者は教育事務所別で特に違いはない。
さらに、年齢別で見ると、どの年齢でも「参加する時間がとれない」が最も高いが、特に30～40歳代では6割を超えている。また、「そのような活動に興味がない」は30～60歳以上では2割以下であるが、10～20歳代では3割に近い。また、性別で見ると、女性に比べて男性は「そのような活動に興味がない」が1割程度高く、「場所や時期があわない」が1割程度低い。

問14 市町や県が生涯学習を推進していく上で、どのようなことを期待しますか。3つまで選んでください。
【対象別】

	市町住民						保護者						大学生		企業従業員		計			
	東予			中予			東予			中予									南予	
	回答数	回答率		回答数	回答率		回答数	回答率		回答数	回答率		回答数	回答率		回答数	回答率			
※5	182	37.0%		230	38.5%		274	38.8%		190	37.0%		241	39.4%		218	38.4%		1,711	38.4%
講座やイベント等の増加	115	23.4%		119	19.9%		143	20.2%		58	11.3%		70	11.4%		78	13.8%		718	16.1%
指導者や講師の増加	219	44.5%		258	43.2%		278	39.3%		197	38.3%		248	40.5%		208	36.7%		1,860	41.8%
情報提供	31	6.3%		35	5.9%		44	6.2%		14	2.7%		21	3.4%		15	2.6%		193	4.3%
学習成果の発表機会の提供	74	15.0%		79	13.2%		85	12.0%		49	9.5%		58	9.5%		45	7.9%		501	11.3%
相談体制の整備	160	32.5%		197	33.0%		227	32.1%		118	23.0%		141	23.0%		138	24.3%		1,230	27.6%
学習施設の増加	123	25.0%		183	30.7%		153	21.6%		168	32.7%		226	36.9%		196	34.6%		1,360	30.6%
学習施設の利便性の向上	54	11.0%		61	10.2%		98	13.9%		99	19.3%		123	20.1%		116	20.5%		705	15.8%
特になし	15	3.0%		16	2.7%		16	2.3%		7	1.4%		6	1.0%		8	1.4%		80	1.8%
その他																				
回答者数	492			597			707			514			612			567			431	
																			531	
																			4,451	

【年齢別】

	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳以上		無効回答		計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
※5																
講座やイベント等の増加	86	40.2%	165	39.1%	317	36.9%	669	40.3%	257	41.7%	211	31.9%	6	35.3%	1,711	38.4%
指導者や講師の増加	24	11.2%	75	17.8%	113	13.2%	229	13.8%	120	19.4%	157	23.7%	0	0.0%	718	16.1%
情報提供	136	63.6%	218	51.7%	358	41.7%	674	40.6%	232	37.6%	234	35.3%	8	47.1%	1,860	41.8%
学習成果の発表機会の提供	11	5.1%	19	4.5%	21	2.4%	60	3.6%	31	5.0%	50	7.6%	1	5.9%	193	4.3%
相談体制の整備	21	9.8%	52	12.3%	63	7.3%	166	10.0%	83	13.5%	116	17.5%	0	0.0%	501	11.3%
学習施設の利用性の向上	66	30.8%	124	29.4%	214	24.9%	406	24.4%	185	30.0%	227	34.3%	8	47.1%	1,230	27.6%
学習施設の利用性の向上	59	27.6%	138	32.7%	279	32.5%	576	34.7%	184	29.8%	119	18.0%	5	29.4%	1,360	30.6%
特になし	30	14.0%	53	12.6%	180	21.0%	276	16.6%	91	14.7%	74	11.2%	1	5.9%	705	15.8%
その他	0	0.0%	5	1.2%	14	1.6%	30	1.8%	15	2.4%	16	2.4%	0	0.0%	80	1.8%
回答者数	214		422		858		1,661		617		662		17		4,451	

全体では「スポーツや文化活動、ボランティア活動などの情報をもっと提供してほしい」(以下、「情報提供」)と回答した割合が最も高く4割を超えており、「講座やイベント等を増やしてほしい」と「学習施設の利用性を高めてほしい」がこれに続いて3割を超えている。対象別で見ると、どの対象でも「情報提供」が最も高く、特に大学生では5割を超えている。また、市町住民と保護者について教育事務所別にみると、市町住民は教育事務所別で特に違いはないが、保護者は南予のみ「講座やイベント等を増やしてほしい」が最も高い。

さらに、年齢別で見ると、50歳代を除いて「情報提供」が最も高いが、年齢が上がるにつれて割合が低下していき、10歳代では6割を超えているのに対して50歳以上では3割台である。性別で見ると、男性は「情報提供」が最も高く、女性は「講座やイベント等を増やしてほしい」が最も高い。

【クロス集計】

問3×問8

※4	している		以前はしていた		していない		無効回答		計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
している	772	67.6%	184	39.2%	964	34.4%	15	37.5%	1,935	43.5%
以前はしていた	105	9.2%	139	29.6%	392	14.0%	6	15.0%	642	14.4%
していない	225	19.7%	136	29.0%	1,388	49.6%	16	40.0%	1,765	39.7%
無効回答	40	3.5%	10	2.1%	56	2.0%	3	7.5%	109	2.4%
計	1,142	100.0%	469	100.0%	2,800	100.0%	40	100.0%	4,451	100.0%

仕事や学校関係以外で定期的な学習活動をしている」と回答した人のうち、地域の活動や公民館活動等に参加「している」と回答した人は3分の2である。一方、定期的な学習活動を「以前はしていた」人のうち、地域の活動や公民館活動等に参加「している」人は4割程度で「以前はしていた」または「していない」人がいずれも3割程度である。また、定期的な学習活動を「していない」人のうち、地域の活動や公民館活動等に参加「している」人は3割半程度で「していない」人が5割程度である。

問6×問8

※4	積極的に活用したい		とくに要請があれば活用したい		報酬があれば活用したい		活用したいと思わない		その他		無効回答		計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
している	233	72.1%	851	52.8%	50	22.9%	230	34.2%	51	54.8%	140	46.8%	1,555	48.3%
以前はしていた	30	9.3%	225	13.9%	36	16.5%	91	13.5%	19	20.4%	42	14.0%	443	13.8%
していない	54	16.7%	502	31.1%	125	57.3%	345	51.3%	21	22.6%	93	31.1%	1,140	35.4%
無効回答	6	1.9%	35	2.2%	7	3.2%	7	1.0%	2	2.2%	24	8.0%	81	2.5%
計	323	100.0%	1,613	100.0%	218	100.0%	673	100.0%	93	100.0%	299	100.0%	3,219	100.0%

「学習活動」の成果や自分のもっている知識や技能を公民館活動や地域の活動等に「積極的に活用したい」と回答した人のうち、地域の活動や公民館活動等に参加「している」と回答した人は7割程度である。一方、「とくに要請があれば活用したい」人のうち参加「している」人は5割程度、「報酬があれば活用したい」人のうち参加「している」人は2割程度である。

問4×問9

※1	積極的に参加したい			興味があれば参加したい			あまり参加したくない			まったく参加したくない			計		
	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率
積極的に参加したい	216	56.7%	264	9.3%	35	3.8%	15	5.7%	2	3.3%	532	12.0%			
興味があれば参加したい	118	31.0%	1,978	69.7%	302	33.2%	47	17.9%	23	38.3%	2,468	55.4%			
あまり参加したくない	20	5.2%	411	14.5%	499	54.8%	81	30.9%	14	23.3%	1,025	23.0%			
まったく参加したくない	3	0.8%	47	1.7%	34	3.7%	115	43.9%	3	5.0%	202	4.5%			
無効回答	24	6.3%	138	4.9%	40	4.4%	4	1.5%	18	30.0%	224	5.0%			
計	381	100.0%	2,838	100.0%	910	100.0%	262	100.0%	60	100.0%	4,451	100.0%			

今後定期的な学習活動のいろいろなことに積極的に参加したい」と回答した人のうち、地域の活動や公民館活動等の「いろいろなことに積極的に参加したい」と回答した人が5割台で最も高い。一方、今後定期的な学習活動に「とくに興味があくことがあれば参加したい」と回答した人のうち地域の活動や公民館活動等に「あまり参加したい」と回答した人が7割台で最も高い。今後定期的な学習活動に「あまり参加したいと思わない」と回答した人のうち地域の活動や公民館活動等に「あまり参加したいと思わない」と回答した人が5割台で最も高く、今後定期的な学習活動に「まったく参加したいと思わない」と回答した人のうち地域の活動や公民館活動等に「まったく参加したいと思わない」と回答した人が4割台で最も高い。

問3×問11

	している		以前はしていた		していない		無効回答		計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
よくある	292	25.6%	48	10.2%	183	6.5%	6	15.0%	529	11.9%
ときどきある	452	39.6%	221	47.1%	863	30.8%	14	35.0%	1,550	34.8%
めったにない	256	22.4%	139	29.6%	1,048	37.4%	10	25.0%	1,453	32.6%
まったくない	104	9.1%	54	11.5%	648	23.1%	6	15.0%	812	18.2%
無効回答	38	3.3%	7	1.5%	58	2.1%	4	10.0%	107	2.4%
計	1,142	100.0%	469	100.0%	2,800	100.0%	40	100.0%	4,451	100.0%

仕事や学校関係以外で定期的な学習活動をしている」と回答した人のうち、ボランティア活動に参加したことが「ときどきある」と回答した人が4割程度で最も高い。一方、定期的な学習活動をしていない」と回答した人のうち、ボランティア活動に参加したことが「ときどきある」と回答した人が4割台で最も高い。また、定期的な学習活動を「していない」人のうち、ボランティア活動に参加したことが「めったにない」と回答した人が3割台で最も高い。

問8×問11

	している		以前はしていた		していない		無効回答		計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
よくある	420	21.7%	41	6.4%	58	3.3%	10	9.2%	529	11.9%
ときどきある	837	43.3%	277	43.1%	427	24.2%	9	8.3%	1,550	34.8%
めったにない	478	24.7%	246	38.3%	720	40.8%	9	8.3%	1,453	32.6%
まったくない	183	9.5%	75	11.7%	546	30.9%	8	7.3%	812	18.2%
無効回答	17	0.9%	3	0.5%	14	0.8%	73	67.0%	107	2.4%
計	1,935	100.0%	642	100.0%	1,765	100.0%	109	100.0%	4,451	100.0%

地域の活動や公民館活動等に参加している」または「以前はしていた」と回答した人のうち、ボランティア活動に参加したことが「ときどきある」と回答した人が、いずれも4割台で最も高い。一方、地域の活動や公民館活動等に参加していない」人のうち、ボランティア活動に参加したことが「めったにない」と回答した人が4割程度で最も高い。

③ 「社会教育に関するアンケート」(大学生・社会人・保護者・祖父母)の調査結果について

問1 「近所の付き合い」について、どう感じていますか。

	市町住民						保護者						大学生		企業従業員		計	
	東予			中予			東予			中予			南予		南予		計	
	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
※6																		
親密になってきている	40	8.2%	10.4%	62	10.4%	59	32	6.4%	38	6.2%	33	5.8%	22	5.1%	29	5.5%	315	7.1%
以前と変わらない	252	51.5%	60.5%	361	60.5%	431	321	64.6%	382	62.4%	380	67.0%	220	51.3%	314	59.7%	2,661	60.1%
疎遠になってきている	149	30.5%	22.9%	137	22.9%	174	107	21.5%	127	20.8%	112	19.8%	92	21.4%	116	22.1%	1,014	22.9%
分からない	46	9.4%	4.4%	26	4.4%	22	37	7.4%	58	9.5%	30	5.3%	83	19.3%	59	11.2%	361	8.2%
無効回答	2	0.4%	1.8%	11	1.8%	21	0	0.0%	7	1.1%	12	2.1%	12	2.8%	8	1.5%	73	1.7%
計	489	100.0%	597	100.0%	707	100.0%	497	100.0%	612	100.0%	567	100.0%	429	100.0%	526	100.0%	4,424	100.0%

全体では「以前と変わらない」と回答した割合が最も高く(60.1%)、「以前に比べて疎遠になってきている」が二番目に高い(22.9%)。対象別で見ると、どの対象でも回答率の順位は変わらないが、保護者全体と大学生を比べると「以前と変わらない」が1割以上違う(保護者全体64.6%、大学生51.3%)。また、市町住民と保護者について教育事務所別にみると、保護者は教育事務所別で特に違いはないが、市町住民は中予、南予と比べて東予で「以前と変わらない」1割程度低く、「以前に比べて疎遠になってきている」が1割程度高い。

問2 「地域における課題」は、どのようなことと感じていますか。

	市町住民						保護者						大学生		企業従業員		計	
	東予			中予			東予			中予			南予		南予		計	
	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
少子・高齢化	350	71.6%	424	71.0%	577	81.6%	285	57.3%	284	46.4%	378	66.7%	239	55.7%	342	65.0%	2,879	65.1%
子どもの安全確保	89	18.2%	138	23.1%	111	15.7%	234	47.1%	321	52.5%	229	40.4%	110	25.6%	144	27.4%	1,376	31.1%
住民同士の交流	171	35.0%	193	32.3%	222	31.4%	80	16.1%	120	19.6%	82	14.5%	109	25.4%	118	22.4%	1,095	24.8%
環境保護	41	8.4%	48	8.0%	73	10.3%	36	7.2%	47	7.7%	39	6.9%	54	12.6%	55	10.5%	393	8.9%
防犯	58	11.9%	96	16.1%	92	13.0%	129	26.0%	228	37.3%	107	18.9%	105	24.5%	138	26.2%	953	21.5%
家庭教育支援・子育て支援	71	14.5%	80	13.4%	93	13.2%	113	22.7%	120	19.6%	126	22.2%	49	11.4%	72	13.7%	724	16.4%
まちづくり	103	21.1%	101	16.9%	132	18.7%	54	10.9%	57	9.3%	88	15.5%	107	24.9%	106	20.2%	748	16.9%
青少年の健全育成	54	11.0%	62	10.4%	52	7.4%	74	14.9%	96	15.7%	40	7.1%	33	7.7%	46	8.7%	457	10.3%
地域文化・伝統芸能の継承	76	15.5%	97	16.2%	138	19.5%	26	5.2%	40	6.5%	42	7.4%	41	9.6%	55	10.5%	515	11.6%
男女共同参画	17	3.5%	15	2.5%	7	1.0%	5	1.0%	4	0.7%	10	1.8%	11	2.6%	0	0.0%	69	1.6%
人権教育	12	2.5%	23	3.9%	24	3.4%	16	3.2%	17	2.8%	11	1.9%	12	2.8%	7	1.3%	122	2.8%
消費者教育	8	1.6%	10	1.7%	8	1.1%	3	0.6%	3	0.5%	4	0.7%	10	2.3%	11	2.1%	57	1.3%
防災・減災	164	33.5%	177	29.6%	205	29.0%	97	19.5%	106	17.3%	94	16.6%	76	17.7%	127	24.1%	1,046	23.6%
その他	6	1.2%	4	0.7%	9	1.3%	1	0.2%	0	0.0%	10	1.8%	4	0.9%	11	2.1%	45	1.0%
回答者数	489		597		707		497		612		567		429		526		4,424	

全体では「少子・高齢化」と回答した割合が最も高く(65.1%)、以下「子どもの安全確保」(31.1%)、「住民同士の交流」(24.8%)と続く。対象別で見ると、どの対象でも「少子・高齢化」が最も高いが、以下、市町住民全体では「住民同士の交流」「防災・減災」と続くのに対して、保護者全体と企業従業員では「子どもの安全確保」「防犯」、大学生では「子どもの安全確保」「住民同士の交流」と続く。また、市町住民と保護者について教育事務所別にみると、市町住民はどの教育事務所でも「少子・高齢化」が7割以上で最も高く、「住民同士の交流」が3割以上でこれに続くが、保護者は「子どもの安全確保」がどの教育事務所でも4割以上で、特に中予では「少子・高齢化」を超えて割合が最も高い。

問3 「地域の教育力」について、どう感じていますか。

※7	市町住民						保護者						計	
	東予		中予		南予		東予		中予		南予			
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
向上している	53	10.8%	67	11.2%	68	9.6%	30	6.0%	16	2.6%	34	6.0%	21	4.9%
以前と変わらない	175	35.8%	263	44.1%	266	37.6%	244	49.1%	336	54.9%	275	48.5%	197	45.9%
低下している	176	36.0%	179	30.0%	244	34.5%	114	22.9%	113	18.5%	134	23.6%	65	15.2%
分からない	83	17.0%	73	12.2%	100	14.1%	107	21.5%	138	22.5%	108	19.0%	134	31.2%
無効回答	2	0.4%	15	2.5%	29	4.1%	2	0.4%	9	1.5%	16	2.8%	12	2.8%
計	489	100.0%	597	100.0%	707	100.0%	497	100.0%	612	100.0%	567	100.0%	429	100.0%
													526	100.0%
													94	1.7%
													300	2.1%
													11	0.4%
													218	35.8%
													218	36.0%
													114	17.0%
													114	17.0%
													174	35.8%
													174	36.0%
													9	1.5%
													9	1.5%
													300	9.6%
													300	9.6%
													11	2.6%
													11	2.6%
													218	49.1%
													218	49.1%
													114	22.9%
													114	22.9%
													174	34.5%
													174	34.5%
													9	18.5%
													9	18.5%
													300	23.6%
													300	23.6%
													11	19.0%
													11	19.0%
													218	31.2%
													218	31.2%
													9	2.8%
													9	2.8%
													300	6.0%
													300	6.0%
													11	2.1%
													11	2.1%
													218	41.4%
													218	41.4%
													114	21.7%
													114	21.7%
													174	33.1%
													174	33.1%
													9	1.7%
													9	1.7%
													300	2.1%
													300	2.1%
													11	0.4%
													11	0.4%
													218	44.6%
													218	44.6%
													114	25.7%
													114	25.7%
													174	20.7%
													174	20.7%
													9	2.1%
													9	2.1%
													300	6.8%
													300	6.8%
													11	2.1%
													11	2.1%
													218	41.4%
													218	41.4%
													114	21.7%
													114	21.7%
													174	33.1%
													174	33.1%
													9	1.7%
													9	1.7%
													300	2.1%
													300	2.1%
													11	0.4%
													11	0.4%
													218	44.6%
													218	44.6%
													114	25.7%
													114	25.7%
													174	20.7%
													174	20.7%
													9	2.1%
													9	2.1%
													300	6.8%
													300	6.8%
													11	2.1%
													11	2.1%
													218	41.4%
													218	41.4%
													114	21.7%
													114	21.7%
													174	33.1%
													174	33.1%
													9	1.7%
													9	1.7%
													300	2.1%
													300	2.1%
													11	0.4%
													11	0.4%
													218	44.6%
													218	44.6%
													114	25.7%
													114	25.7%
													174	20.7%
													174	20.7%
													9	2.1%
													9	2.1%
													300	6.8%
													300	6.8%
													11	2.1%
													11	2.1%
													218	41.4%
													218	41.4%
													114	21.7%
													114	21.7%
													174	33.1%
													174	33.1%
													9	1.7%
													9	1.7%
													300	2.1%
													300	2.1%
													11	0.4%
													11	0.4%
													218	44.6%
													218	44.6%
													114	25.7%
													114	25.7%
													174	20.7%
													174	20.7%
													9	2.1%
													9	2.1%
													300	6.8%
													300	6.8%
													11	2.1%
													11	2.1%
													218	41.4%
													218	41.4%
													114	21.7%
													114	21.7%
													174	33.1%
													174	33.1%
													9	1.7%
													9	1.7%
													300	2.1%
													300	2.1%
													11	0.4%
													11	0.4%
													218	44.6%
													218	44.6%
													114	25.7%
													114	25.7%
													174	20.7%
													174	20.7%
													9	2.1%
													9	2.1%
													300	6.8%
													300	6.8%
													11	2.1%
													11	2.1%
													218	41.4%
													218	41.4%

全体では「以前と変わらない」と回答した割合が最も高く(44.6%)、「以前に比べて低下している」が二番目に高い(25.7%)。対象別でみると、どの対象でも「以前と変わらない」が最も高いが、大学生と企業従業員では「わからない」が二番目に高い。また、市町住民と保護者について教育事務所別にみると、保護者は教育事務所別で特に違いはないが、市町住民は東予、南予と比べて中予で「以前と変わらない」が1割程度高い。

問4 「家庭の教育力」について、どう感じていますか。

※7	市町住民						保護者						計	
	東予		中予		南予		東予		中予		南予			
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
向上している 以前と変わらない 低下している 分からない 無効回答	43	8.8%	47	7.9%	47	6.6%	38	7.6%	51	8.3%	40	7.1%	23	5.4%
	172	35.2%	283	47.4%	296	41.9%	325	65.4%	385	62.9%	349	61.6%	218	50.8%
	190	38.9%	182	30.5%	225	31.8%	71	14.3%	104	17.0%	109	19.2%	53	12.4%
	81	16.6%	67	11.2%	106	15.0%	63	12.7%	64	10.5%	53	9.3%	121	28.2%
	3	0.6%	18	3.0%	33	4.7%	0	0.0%	8	1.3%	16	2.8%	14	3.3%
計	489	100.0%	597	100.0%	707	100.0%	497	100.0%	612	100.0%	567	100.0%	429	100.0%
													526	100.0%
													13	2.5%
													429	100.0%
													24	4.6%
													225	42.8%
													107	20.3%
													157	29.8%
													105	2.5%
													313	7.1%
													2,253	50.9%
													1,041	23.5%
													712	16.1%
													105	2.4%
													4,424	100.0%

全体では「以前と変わらない」と回答した割合が最も高く(50.9%)、「以前に比べて低下している」が二番目に高い(23.5%)。対象別でみると、どの対象でも「以前と変わらない」が最も高いが、大学生と企業従業員では「わからない」が二番目に高い。また、市町住民と保護者について教育事務所別にみると、保護者は教育事務所別で特に違いはないが、市町住民は東予と比べて中予で「以前と変わらない」が1割程度高く、「以前に比べて低下している」が1割程度低い。

問5 現在、ご家庭でお子さんに対して十分な子育てができていると思いますか。

	市町住民						保護者						企業従業員		計	
	東予		中予		南予		東予		中予		南予					
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
できている	11	8.3%	20	7.6%	32	12.5%	63	12.9%	70	11.6%	48	8.8%	20	11.6%	264	10.7%
どちらかといえ	74	56.1%	171	65.3%	154	59.9%	309	63.3%	388	64.6%	360	66.1%	99	57.6%	1,555	63.3%
ばできている	40	30.3%	63	24.0%	63	24.5%	105	21.5%	127	21.1%	122	22.4%	47	27.3%	567	23.1%
どちらかといえ	7	5.3%	8	3.1%	8	3.1%	11	2.3%	16	2.7%	15	2.8%	6	3.5%	71	2.9%
できていない																
計	132	100.0%	262	100.0%	257	100.0%	488	100.0%	601	100.0%	545	100.0%	172	100.0%	2,457	100.0%

全体では「どちらかといえ」が最も高く(63.3%)、「どちらかといえ」が二番目に高い(23.1%)。対象別でみると、どの対象でも回答率の順位は変わらない。また、市町住民と保護者について教育事務所別にみると、保護者は教育事務所別で特に違いはないが、市町住民は中予、南予と比べて東予で「できている」と「どちらかといえ」の割合の合計が1割程度低い。

問6 現在、子育ての悩みや不安がありますか。

	市町住民						保護者						企業従業員				計	
	東 予		中 予		南 予		東 予		中 予		南 予		回 答 数		回 答 率			
	回 答 数	回 答 率	回 答 数	回 答 率	回 答 数	回 答 率	回 答 数	回 答 率	回 答 数	回 答 率	回 答 数	回 答 率	回 答 数	回 答 率	回 答 数	回 答 率		
ある	89	67.9%	174	65.9%	182	70.0%	316	64.2%	393	65.3%	351	63.8%	98	56.6%	1,603	64.8%		
ない	42	32.1%	90	34.1%	78	30.0%	176	35.8%	209	34.7%	199	36.2%	75	43.4%	869	35.2%		
計	131	100.0%	264	100.0%	260	100.0%	492	100.0%	602	100.0%	550	100.0%	173	100.0%	2,472	100.0%		

全体では「ある」と回答した割合が3分の2を占めている(64.8%)。対象別で見ると、「ある」の割合が最も低い企業従業員でも5割を超えている。

問7 問6で回答された「子育ての悩みや不安」は、どんなことですか。

※8	市町住民						保護者						企業従業員				計			
	東予		中予		南予		東予		中予		南予		東予		中予		南予		計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
しつけやマナー 勉強や進学 健康や発達 教育費用 性格や癖 子どもの友人関係 子どもの生活の乱れや非行 子どもとのコミュニケーション不足 子どものネットへの理解 子どもたちの理解 スマホ、インターネットなどの使用 通学などの子どもの安心・安全 自然体験・交流体験の不足 身近に相談できる人がいない その他	33	25.0%	66	25.0%	75	28.8%	84	17.1%	105	17.4%	89	16.2%	41	23.7%	493	19.9%				
	41	31.1%	97	36.7%	84	32.3%	193	39.2%	248	41.2%	227	41.3%	43	24.9%	933	37.7%				
	12	9.1%	21	8.0%	19	7.3%	43	8.7%	39	6.5%	31	5.6%	23	13.3%	188	7.6%				
	27	20.5%	49	18.6%	59	22.7%	94	19.1%	144	23.9%	131	23.8%	28	16.2%	532	21.5%				
	18	13.6%	20	7.6%	21	8.1%	46	9.3%	42	7.0%	45	8.2%	6	3.5%	198	8.0%				
	11	8.3%	30	11.4%	40	15.4%	77	15.7%	64	10.6%	68	12.4%	12	6.9%	302	12.2%				
	8	6.1%	5	1.9%	4	1.5%	9	1.8%	14	2.3%	10	1.8%	4	2.3%	54	2.2%				
	11	8.3%	18	6.8%	11	4.2%	21	4.3%	20	3.3%	27	4.9%	10	5.8%	118	4.8%				
	14	10.6%	24	9.1%	30	11.5%	67	13.6%	84	14.0%	58	10.5%	11	6.4%	288	11.7%				
	24	18.2%	73	27.7%	66	25.4%	109	22.2%	165	27.4%	129	23.5%	26	15.0%	592	23.9%				
その他	14	10.6%	19	7.2%	30	11.5%	24	4.9%	44	7.3%	32	5.8%	13	7.5%	176	7.1%				
	7	5.3%	15	5.7%	17	6.5%	27	5.5%	40	6.6%	23	4.2%	12	6.9%	141	5.7%				
	1	0.8%	1	0.4%	3	1.2%	4	0.8%	4	0.7%	4	0.7%	1	0.6%	18	0.7%				
	0	0.0%	3	1.1%	5	1.9%	3	0.6%	1	0.2%	2	0.4%	2	1.2%	16	0.6%				
回答者数	132		264		260		492		602		550		173		2,472					

全体では「勉強や進学」と回答した割合が最も高く(37.7%)、以下「スマートフォンやインターネット」(23.9%)「教育費用」(21.5%)と続く。対象別で見ると、どの対象でも「勉強や進学」が最も高いが、以下、市町住民全体では「スマートフォンやインターネット」(21.5%)と続くのに対して、保護者全体では「スマートフォンやインターネット」(37.7%)と続く。

また、市町住民と保護者について教育事務事務別にみると、市町住民では「勉強や進学」が最も高いが、東予と南予ではこれに「しつけやマナー」が続くのに対して、中予では「スマートフォンやインターネット、ゲーム機などの使用」が続いている。保護者ではどの教育事務所でも「勉強や進学」が最も高いが、東予と中予ではこれに「スマートフォンやインターネット、ゲーム機などの使用」が続くのに対して、南予では「教育費用」が続いている。

【クロス集計】

問1 × 問3

※7	親密になってきている		以前と変わらない		疎遠になってきている		分からない		無効回答		計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
向上している	82	26.0%	151	5.7%	51	5.0%	12	3.3%	4	5.5%	300	6.8%
以前と変わらない	143	45.4%	1,543	58.0%	244	24.1%	42	11.6%	2	2.7%	1,974	44.6%
低下している	40	12.7%	522	19.6%	528	52.1%	46	12.7%	3	4.1%	1,139	25.7%
分からない	47	14.9%	425	16.0%	184	18.1%	258	71.5%	3	4.1%	917	20.7%
無効回答	3	1.0%	20	0.8%	7	0.7%	3	0.8%	61	83.6%	94	2.1%
計	315	100.0%	2,661	100.0%	1,014	100.0%	361	100.0%	73	100.0%	4,424	100.0%

近所の付き合いについて「以前に比べて親密になってきている」と回答した人のうち、地域の教育力について「以前に比べて向上している」と回答した人は4分の1である。一方、近所の付き合いについて「以前と変わらない」と回答した人のうち地域の教育力についても「以前と変わらない」と回答した人、及び近所の付き合いについて「以前に比べて疎遠になってきている」と回答した人のうち地域の教育力について「以前に比べて低下している」と回答した人は、それぞれ5割を超えている。

問3 × 問4

※7	向上している		以前と変わらない		低下している		分からない		無効回答		計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
向上している	102	34.0%	117	5.9%	54	4.7%	39	4.3%	1	1.1%	313	7.1%
以前と変わらない	130	43.3%	1,519	77.0%	353	31.0%	243	26.5%	8	8.5%	2,253	50.9%
低下している	43	14.3%	262	13.3%	631	55.4%	102	11.1%	3	3.2%	1,041	23.5%
分からない	24	8.0%	62	3.1%	92	8.1%	532	58.0%	2	2.1%	712	16.1%
無効回答	1	0.3%	14	0.7%	9	0.8%	1	0.1%	80	85.1%	105	2.4%
計	300	100.0%	1,974	100.0%	1,139	100.0%	917	100.0%	94	100.0%	4,424	100.0%

地域の教育力について「以前に比べて向上している」と回答した人のうち、家庭の教育力についても「以前に比べて向上している」と回答した人は3分の1である。一方、地域の教育力について「以前と変わらない」と回答した人のうち家庭の教育力についても「以前と変わらない」と回答した人は4分の3、地域の教育力について「以前に比べて低下している」と回答した人のうち家庭の教育力についても「以前に比べて低下している」と回答した人は5割を超えている。

注釈

アンケートの調査項目

※1 いろいろなことに積極的に参加したい とくに興味がわくことがあれば参加したい あまり参加したいと思わない まったく参加したいと思わない	※1 積極的に参加したい 興味がわくば参加したい あまり参加したくない まったく参加したくない 無効回答
※2 そのような活動には興味が無い 興味がわく内容がない 参加する時間がとれない 場所や時期があわない その他の理由	※2 活動に興味が無い 興味がわく内容がない 参加する時間がとれない 場所や時期があわない その他の理由 無効回答
※3 地域のお祭りや運動会などの活動 地域の自然や環境を守る活動 地域の伝統や文化を守る活動 募金やチャリティバザーの活動 障がい者やお年寄りなどとの交流活動 防犯・防災に関する活動 その他	※3 地域のお祭りや運動会 地域の自然や環境を守る 地域の伝統や文化を守る 募金やチャリティバザー 障がい者やお年寄りとの交流 防犯・防災 その他 無効回答
※4 以前はしていたが今はしていない していない	※4 している 以前はしていた していない 無効回答
※5 講座やイベント等を増やしてほしい 指導者や講師を増やしてほしい スポーツや文化活動、ボランティア活動などの 情報をもっと提供してほしい 学習の成果を発表する機会を提供してほしい 生涯学習について相談できる体制を整備してほしい 地域の特色を生かした学習施設を増やしてほしい 学習施設の利便性を高めてほしい (利用時間の延長、利用料金の軽減等) 特になし その他	※5 講座やイベント等の増加 指導者や講師の増加 情報提供 学習成果の発表機会の提供 相談体制の整備 学習施設の増加 学習施設の利便性の向上 特になし その他

集計結果表内の表記

※1 以前に比べて親密になってきている 以前と変わらない 以前に比べて疎遠になってきている 分からない	※6 親密になってきている 以前と変わらない 疎遠になってきている 分からない 無効回答
※7 以前に比べて向上している 以前と変わらない 以前に比べて低下している 分からない	※7 向上している 以前と変わらない 低下している 分からない 無効回答
※8 しつけやマナー 勉強や進学 健康や発達 教育費用 性格や癖 子どもの友人関係 子どもの生活の乱れや非行 子どもとのコミュニケーション不足 子どもとのコミュニケーション不足 子どもの気持ちの理解 スマートフォンやインターネット、ゲーム機などの使用 通学等における子どもの安心・安全 自然体験・交流体験等の不足 子育てについて身近に相談できる人がいない その他	※8 しつけやマナー 勉強や進学 健康や発達 教育費用 性格や癖 子どもの友人関係 子どもの生活の乱れや非行 子どもとのコミュニケーション不足 子どもとのコミュニケーション不足 子どもの気持ちの理解 スマートフォンやインターネット、ゲーム機などの使用 通学等における子どもの安心・安全 自然体験・交流体験等の不足 子育てについて身近に相談できる人がいない その他

アンケートの調査項目

※6 以前に比べて親密になってきている 以前と変わらない 以前に比べて疎遠になってきている 分からない	※6 親密になってきている 以前と変わらない 疎遠になってきている 分からない 無効回答
※7 以前に比べて向上している 以前と変わらない 以前に比べて低下している 分からない	※7 向上している 以前と変わらない 低下している 分からない 無効回答
※8 しつけやマナー 勉強や進学 健康や発達 教育費用 性格や癖 子どもの友人関係 子どもの生活の乱れや非行 子どもとのコミュニケーション不足 子どもとのコミュニケーション不足 子どもの気持ちの理解 スマートフォンやインターネット、ゲーム機などの使用 通学等における子どもの安心・安全 自然体験・交流体験等の不足 子育てについて身近に相談できる人がいない その他	※8 しつけやマナー 勉強や進学 健康や発達 教育費用 性格や癖 子どもの友人関係 子どもの生活の乱れや非行 子どもとのコミュニケーション不足 子どもとのコミュニケーション不足 子どもの気持ちの理解 スマートフォンやインターネット、ゲーム機などの使用 通学等における子どもの安心・安全 自然体験・交流体験等の不足 子育てについて身近に相談できる人がいない その他

集計結果表内の表記

※6 親密になってきている 以前と変わらない 疎遠になってきている 分からない 無効回答	※6 親密になってきている 以前と変わらない 疎遠になってきている 分からない 無効回答
※7 向上している 以前と変わらない 低下している 分からない 無効回答	※7 向上している 以前と変わらない 低下している 分からない 無効回答
※8 しつけやマナー 勉強や進学 健康や発達 教育費用 性格や癖 子どもの友人関係 子どもの生活の乱れや非行 子どもとのコミュニケーション不足 子どもとのコミュニケーション不足 子どもの気持ちの理解 スマートフォンやインターネットなどの使用 通学などの子どもの安心・安全 自然体験・交流体験の不足 身近に相談できる人がいない その他	※8 しつけやマナー 勉強や進学 健康や発達 教育費用 性格や癖 子どもの友人関係 子どもの生活の乱れや非行 子どもとのコミュニケーション不足 子どもとのコミュニケーション不足 子どもの気持ちの理解 スマートフォンやインターネットなどの使用 通学などの子どもの安心・安全 自然体験・交流体験の不足 身近に相談できる人がいない その他

愛媛県生涯推進計画(第四次)策定委員名簿

愛媛県社会教育委員

(五十音順)

職 名	氏 名
西予市連合青年団長	岡田 逸
愛媛県社会教育委員連絡協議会長	岡山 勇一
愛媛県市町教育委員会連合会長	金本 房夫
愛媛大学名誉教授	讃岐 幸治
愛媛県PTA連合会副会長	杉原 美由紀
愛媛県小中学校長会副会長 (松山市立清水小学校長)	中尾 順子
愛媛県公民館連合会長	橋本 英厚
愛媛大学教育学部附属 教育実践総合センター教授	平松 義樹
愛媛県高等学校長協会長 (愛媛県立松山東高等学校長)	藤田 繁治
愛媛県連合婦人会長	三好 康子
公募委員	森 智子
大洲子育てサポートそよ風サポート委員	山口 和恵
NPO法人子育てネットワークえひめ代表	山本 由美子

※ 所属、役職は平成27年8月9日現在

協力者

職 名	氏 名
国立青少年教育振興機構 青少年教育研究センター研究員	松橋 義樹